

かねざわ

第59号

平成28(2016)年11月

- ・28年学習会計画、継続会員の申込み (P-2)
- ・「杉田界隈を巡る」探訪実行委員会 (P-13)



次

運営委員会からのお知らせ

- 2 28年学習会計画
継続会員の申込み

学習会

- 3 第4回学習会
「国宝 称名寺聖教・金沢文庫文書の未来展望」

- 9 第5回学習会
「源平の盛衰過程と頼朝・金沢」
『新版 かねざわの歴史事典』
編集委員長 熊谷 哲 氏

- 13 第6回学習会
「杉田界隈を巡る」
探訪実行委員会

分科会からの便り

- 19 「寺社を巡る会」

- 22 「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 No20
代表 佐藤 晃

- 30 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No15
代表 小俣 悦男

- 35 「浮雲俳句会」 妙録 No13
代表 北野 清市

- 41 「パソコンなんでも相談室」 【9】
代表 林 洋

- 43 「古文書を読む会」 代表 真田 雅行
「ジョン万次郎 漂流記」第3回

行事予定

- 46 12月~2月



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ:<http://kanazawa-wanokai.in.cocan.jp/>

メー ル:yokohama.anazawa.wanokai@gmail.com

運営委員会からのお知らせ

2017年度の学習会計画と継続会員受付のお知らせ

2016年11月12日 運営委員会

1. 2017年度の学習会計画

学習会ごとの皆様からのアンケートなどを参考に、下表のような2017年度の学習会計画を作成しました。講師・会場・テーマにつきましても、一部変更の可能性のあるものもございます。それらにつきましては確定次第、会報やホームページでお知らせいたします。

回	開催日	テーマ	講師	会場
1	5/13(土)	谷津(仮題)	“わ”の会 会員 伊澤 尚 氏	能見台地区センター
2	6/10(土)午後	室町時代Ⅰ－上杉禅秀の乱－	国際日本文化研究センター 助教 呉座 勇一 氏	金沢地区センター
3	7/8(土)午後	室町時代Ⅱ－永享の乱－	国際日本文化研究センター 助教 呉座 勇一 氏	能見台地区センター
4	8/ (開催日未定)	[訪問講座] 金沢文庫展示関連(詳細未定)	県立金沢文庫 学芸員	県立金沢文庫
5	9/9(土)	玉縄北条氏の役割と金沢	青山学院大学講師 真鍋 淳哉 氏	金沢地区センター
6	10/13(金)	[探訪] 小田原城	探訪実行委員会	小田原城
7	11/11(土)	金沢に関するテーマで調整中	横浜開港資料館 副館長 西川 武臣 氏	能見台地区センター

2. 継続会員の申込受付

2017年度の“わ”の会への入会申込は、例年通り継続会員を優先といたします。継続会員の申込受付は、9月の学習会から開始しました。年会費3,000円を添えて本日(11月)の学習会でお申込下さい。また、継続ご希望で、学習会での申込手続きができなかった場合は、11月30日(水)までに下記(2)の銀行口座へ会費3,000円をお振込ください。なおこの、11月30日をもって、継続会員の申込を締切らせていただきます。

(1) 学習会で申込の場合 (本日の学習会にて申込みをしてください)

(2) 銀行振込で申込の場合 振込先 (11/30まで)

横浜銀行 金沢支店(店番号 351) 普通預金口座番号 1324219

名義人 金沢区生涯学習わの会 代表 内田 孝知(ウチダ タカトモ)

第4回学習会

『国宝 称名寺聖教・金沢文庫文書の未来展望』

開催日：平成28年8月6日（土）

9：30～12：00

会 場：県立金沢文庫

講 師：県立金沢文庫主任学芸員



道津 綾乃 氏

【概要】

1. 展示のご案内

講演会に参加頂き、ありがとうございます。ここに立たせて頂き、紹介の「垂幕の書」が上手で、すばらしく、主に本を読むことが専門としている私には、まったく筆が書けませんので、感動しております。手書きで書くと上司にワープロにしてくださいと言われる。また今日の講演タイトルは大変に読み難く司会の内田さんが平然と聖教（しょうぎょう）、文書（もんじょ）と正しく読まれ皆様のレベルが伺え、緊張しておりますが講演を始めます。

本日の企画展示、お勧めはレプリカ金剛弥勒菩薩像、脇に長い系図が2本あります。右側は「釘日記」（釘の長さを図解している、たいへん珍しい文書で鎌倉時代の資料です。今後は国宝に指定されるでしょう）、左側には「華嚴論節要」「華嚴経問答」（称名寺所蔵の「華嚴経問答」国宝に答申）金沢文庫の聖教調査により発見され、新聞報道等でも話題になりました。「華嚴経問答」は今夏に韓国で行われる学術大会「元暁と新羅仏教」のテーマとして取り上げられます。展示の目玉ですのでじっくり、ご覧下さい。

2. 金沢文庫で保管する「称名寺聖教・金沢文庫文書」2万点余は、このたび国宝に指定されることになりました。同資料は、我が国の中世史、仏教史、仏教美術史などを考えるうえで第一級の資料群と言えます。

2. 平成27年10月に「称名寺聖教・金沢文庫文書」16,000点の中から10点を選び文化庁に報告をしました。初めは専門家が見ますが、最後は大臣用に分かり易く書き、これが受理されれば、これで国宝指定ルートに乗る訳でワクワク気分です。平成28年1月文化庁から資料の断簡依頼(50~60点)が在り修正後、平成28年3月11日文化庁審議会に答申をしました。「称名寺聖教・金沢文庫文書」(国宝に答申)は平成28年3月28日に大臣⇒文化庁から国宝に答申したことを受けました。

でも正式には官報告示が出ないと国宝には認められませんので現6月時点では、まだ国宝ではありません。遅くとも9月だろうと考えています。

4. 文化庁記者発表の資料抜粋です。

◆平成28年3月11日 文化審議会答申◆
称名寺聖教(しょうみょうじ しょうぎょう)
金沢文庫文書(かなざわぶんこ もんじょ)種別は書籍・典籍です所有者は宗教法人称名寺(神奈川県立金沢文庫保管)、時代は平安時代~明治時代、数量は称名寺聖教16,692点金沢文庫文書4,149通です。特徴等は金沢氏の菩提寺であつた称名寺と、北条実時の草創にかかる金沢文庫に伝来した資料群の一括で、称名寺聖教及び金沢文庫文書ともに、我が国における代表的な仏像・寺院史料及び武家文書と

して貴重である。称名寺聖教及び金沢文庫文書ともに重要文化財の指定を受けていたが、これらを統合し、新たに明らかになった聖教類を追加することで、史料群の全体像を把握することができる。鎌倉時代の浄土宗や禅宗などの鎌倉新仏教、真言宗をはじめとした旧仏教を問わず仏教史はもちろんのこと、政治史のみならず武家の文化を解明する上で欠かせない第一級の史料である。基準は国宝及び重要文化財指定基準国宝(重要文化財のうち学術的価値の特に高いもの又は我が国の文化史上に特に貴重なもの)・・・以上が答申内容です。

5. これまでの金沢文庫の取組み

(1) 文書=書状の類で追って行きますと、
●戦前は1935年大屋徳城「金沢遺文」(便利堂)下巻に書状のコロタイプと解題、(上巻は版本<仏典と漢籍>、中巻は写本<仏典>、下巻は書状の前に「文選集注」を収録)、1937年~1943年「金沢文庫古文書」第1,2輯(巖松堂)刊行、1936年~1938年「金沢文庫古文書」展を盛んに開催しました。1940年頃コロタイプ版『金沢文庫古文書』(280枚)を刊行し、たいへんなプレミアで手に入りません。古文書を整理するには裏打ちによる復元修理をするのが最初のスタンスでした。(片面が書状、もう片面が仏典とみられる両面書は書状を主として修理した。)

●戦後は1952年~1964年「金沢文庫古文書」全17巻+索引篇刊行、1967年~「神奈川県史」(県政100周年記念)に収録、1971年~1995年「鎌倉遺文」(竹内理三編 東京堂)に収録、1990年『金沢文庫文

書目録』（金沢文庫）刊行・・・4148通（うち紙背文書は2795通）⇒1990年（平成2年）重要文化財 金沢文庫文書（4149通）指定されました。

（2）次に典籍については1930年に光明院から移管された長持内の大量の古文書の整理が始まりました。

●戦前は1939年「金沢文庫古書目録」（巖松堂）刊行 「現存古書約二万の中から、その整理を完了した約八千と、早く庫外に散逸した約二百六十部三千余巻の古書である。」金沢文庫旧蔵書目 1和書 2仏書 3漢籍⇒金沢文庫印＝金沢文庫本、称名寺僧筆写本、宋版大蔵経・宋版大蔵経目録⇒文庫寄託・称名寺旧目録・現蔵仏書目録、声学書目録、絵図目録（約8000点、五十音順の目録・付録（不完本跋文集、湛睿不完稿本跋文集）を金沢文庫本（庫外・庫内）、称名寺古書（仏書・外典）、宋版大蔵経に大別の方です。1943年より金沢文庫古典保存会の援助による古書修理を開始しました。1944年ごろ金沢文庫古典保存会により古書数点の影印本を刊行しました。

●戦後は1951年、関靖「金沢文庫研究」金沢文庫印の研究（講談社）刊行。1960年神奈川県に学芸員職設置、1961年学術顧問（竹内理三、水野弘元、井上光貞、松下隆章）委嘱し「金沢文庫研究紀要」（全13号）刊行開始した。（20,000点で研究課題がたくさんある。）1973年～称名寺の仏書の展示が主流となる。1974年「金沢文庫資料全書」（全10巻）刊行開始＝称名寺の仏書研究。1981年 関靖・熊原政男『金沢文庫本之研究』

（青裳堂書店）刊行。「金沢文庫本目録」収録＝金沢文庫本研究。1982年納富常天『金沢文庫資料の研究』（法蔵館）刊行、この仏典は注目されなかった。1993～1996年 宋版一切教調査⇒『神奈川県立金沢文庫保管 宋版一切教目録』（金沢文庫）刊行⇒1997年（平成9年）重要文化財 宋版 宋版一切教（3486帖）が指定された。1997～1998年、「金沢文庫資料図録」唱導資料篇作成事業（8000帖の内、半分しか残っていません）⇒2013年『称名寺聖教 尊勝院弁曉設草』（金沢文庫編 勉誠出版）刊行 坊さんのお説教が書いてある。2002～2005年 金沢文庫古書目録調査⇒『称名寺聖教 目録』（文化庁）刊行、これは指定目録ですのでコピーは出来ません。⇒2006年（平成18年）重要文化財 称名寺聖教（13,027点）が指定、2007年 金沢文庫文書目録調査、2008～2009年 称名寺聖教状態調査、2010～2014年 称名寺所蔵聖教（断簡類）史料調査⇒『称名寺所蔵聖教（断簡類）史料調査報告書』（金沢文庫）刊行する。2015年 称名寺所蔵聖教（断簡類）確認調査⇒2016年（平成28年）国宝 称名寺聖教（16692点）・金沢文庫文書（4149通）⇒『称名寺聖教追加目録』（文化庁）刊行。以上、長い歴史であり、これが金沢文庫の歴史であります。皆様にも力をお貸し頂きたい。

今後の仕事

（1）金沢文庫による国宝目録の刊行⇒国宝 称名寺聖教・金沢文庫文書を一冊にまとめた史料台帳兼用目録（5～7年後）

(2) 文化財修理

①国宝 称名寺聖教は98%未修理で約16300点あり年間50点としても326年掛かります。古い書類を見ないと未来が見えないのです。修理をしてそれを守る作業が必要です。

②国宝 金沢文庫文書は、文化庁より再修理の指導を受け4149通を年間100点として40年も掛かります。

③重文 宋版一切経は称名寺所蔵聖教(断簡類)史料調査の過程で欠損部分が出現したため要修理の指導、190か所年間50件で4年掛かります。

(3) 研究・金沢文庫資料図録、唱導資料篇作成事業の継続⇒『称名寺聖教 湛睿設草』今年度刊行予定。・金沢文庫資料全書にかかわる叢書刊行⇒新羅・高麗仏教籍篇の構想もあります。☆古い資料を読んで研究しないと価値がわからない、注目してもらうためにも今日わからないことが明日わかるかもしれないから継続研究が必要になります。

(4) データベース化

インターネット上で公開する。⇒現在準備中、☆世界の優れた研究者が新事実を見つけてくれるかもしれないから ☆世界中の人々に、存在を知ってほしいから

7. 国宝 称名寺聖教・金沢文庫の未来展望

- (1) ユネスコ「世界の記憶」認定に挑戦
- ・2016年 神奈川県の一大事業として政策案提出
- ・2017年 個別事業として予算請求・改正政策案提出
- ・2018～2022年 認定に向けた準備作業、
- ・2023年 ユネスコ国内選考応募、
- ・2024年 ユネスコ「世界の記憶」委員会の選考

(2) 保存環境の改善・・空調設備の新調、収蔵庫や書庫の収納能力向上

(3) 一般公開の多角化

☆2030年は県立金沢文庫創立100周年です！

(鈴木秀幸 記)

2016年度第4回学習会アンケート集計と実施報告

1. アンケート集計

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	52	9	61(59.2)	0	61	
女	2	2	4(23.5)	0	4	45(83.3)	
計	54	11	65(54.2)	0	65		

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. チェックなし
21名	16名	6名	2名

- ・道津名言「昔の資料を読まない未来が見えない」
- ・ご自身の苦勞話は良かったが、修理の現実を話して欲しかった
- ・金沢文庫の「古文書・典籍」の研究の歴史が理解できました
- ・金沢文庫の歴史、国宝に至る苦勞話が聞けたこと
- ・わかりやすい説明でした、国宝になるまで大変な道のりなのですね
- ・国宝文書の調査整理が気の遠くなるような努力が必要であることが良く分かった
- ・古文書の保存、調査研究の地道な努力がよくわかりました
- ・文化財保全の大変さがあらためてわかった
- ・関係者の息の長い地道なお仕事に敬意を表したいと思います
- ・聖教と文書の違いが明確になった、金沢文庫の永い努力に頭が下がりました
- ・聖教や文書の国宝、重文指定の手順など少しわかりました
- ・国宝（称名寺聖教・金沢文庫文書の未来展望）の話を通して、金沢文庫の役割をそれなり理解出来た
- ・分かり易く、文化財修理、維持が大変な事がよく理解できた
- ・身近な場所に金沢文庫のような素晴らしい施設があることのラッキーさを改めて感じた
- ・称名寺聖教・金沢文庫文書への理解が深まりました
- ・いままでの講演と違い、とまどいが有ったが、聞いていくうち古文書の修復の苦勞がわかり、展示物を見るのが楽しみである(出来たら講演中にビデオ見ながらだともっと楽しく聞けたと思う)
- ・金沢文庫収蔵の文化財のあれこれ、そして学芸員の仕事の裏話は大変興味深かった
- ・古文書の整理保存には精力的努力だよりを知り得た、文化財の重要性への理解が深まりました
- ・なぜ国宝に指定されていないかという裏話は役所の仕事の進め具合が分かって面白かった
- ・国宝にするための努力を説明してもらい、いかに大変かを少しは理解できた
- ・金沢文庫の歴史が良くわかりました
- ・対象物と研究のご苦勞が良くわかった
- ・大変な仕事だなあと思いましたがこれと同様の御苦勞は全ての分野に横たわっているのだ、日本全体が頑張らねば！！
- ・金沢文庫の重要性を知りました
- ・今回 国宝に指定された文書類の保存、経緯と現場の苦勞を含めながら分かりやすく話され文化財の指定がたいへんなことが良くわかりました、地味な研究にたずさわっている道津先生に心よりエールを送ります
- ・文庫の仕事の実情がよく解った、頑張ってください
- ・国宝指定は金沢の誇りです、指定までの長い道のりを詳しく説明いただきよく分りました、文庫の存在意義を再認識しました
- ・国宝指定後のテーマの大きさが良く理解出来た(我々に出来る事は何かないかと思うが)
- ・国宝答申が官報記載される事を願う事と現在までの流れが理解できた
- ・迫力ある講演に「金沢文庫」の永遠なる繁栄を感じた
- ・わかりやすい説明
- ・歯切れがよく、聞きやすかった
- ・熱心さに感動
- ・ユーモアをまじえて大変良かった(2)
- ・ホラ大いに結構、もっと吹いて下さい(2)
- ・全般に

- ・展示に関する事でやむをえない、あまり面白くない、金沢文庫の永遠に続く仕事があった
- ・資料の内容そのものについても事例として多少紹介して欲しかった(称名寺聖教の内容等)
- ・私にとっては専門的、技術的にすぎた
- ・私の知識の範囲を超えた分野だった
- ・話は非常に分かりやすいのですが、時間の関係から少し早口で聞き取りにくい所がありました
- ・金沢文庫の諸先輩に方のご努力に敬意

3. 道津講師に希望する講演テーマについて

- ・仏教史、東大寺と称名寺の関係
- ・称名寺聖教の内容・事例の説明(何が書いてあるのか?)
- ・経過説明だけでなく、代表的仏典を説明して欲しい
- ・続編をお願いします(明るくさわやかに仕事をする人だなあと思いました)
- ・華嚴経問答
- ・文化財修理の必要性
- ・現在の日本人の精神文化に大影響を及ぼした仏教のことを易しく話して欲しい
- ・仏教史
- ・同様な話題で研究、仕事の進展状況をお願いしたい
- ・国宝になったあとの未来展望をぜひお聞きしたい
- ・重要文化財、国宝、世界遺産を目指して大変努力されている様子だが、その中身が庶民にどのようなインパクトがあるのか、ないのかが知りたい
- ・金沢の歴史について

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェックなし
15名	19名	0名	11名

- ・スムーズな運営です(4)
- ・ご苦労様です、今後共ご指導願います
- ・役員の方々の御苦労に感謝します
- ・残暑の中で早朝より受付から展示鑑賞まで御苦労様でした
- ・テキストが事前に配布されているとありがたい

5. “わ”の会について

- ・金沢の歴史を主に
- ・内田代表を中心にいつもお世話様です、側面からお手伝い出来る事はお声掛けて下さい

以上

文化庁記者発表資料抜粋

◆平成 28 年 3 月 11 日 文化審議会答申◆	
	{ 称名寺聖教 (しょうみょうじ しょうぎょう) 金沢文庫文書 (かなざわぶんこ もんじょ)
種別	書跡・典籍
所有者	宗教法人称名寺 (横浜市金沢区金沢町 212-1) (神奈川県立金沢文庫保管)
時代	平安時代～明治時代
数量	称名寺聖教 16,692 点 金沢文庫文書 4,149 通
特徴等	金沢氏の菩提寺であった称名寺と、北条実時の草創にかかる金沢文庫に伝来した史料群の一括で、称名寺聖教及び金沢文庫文書ともに、我が国における代表的な仏教・寺院史料及び武家文書として貴重である。称名寺聖教及び金沢文庫文書ともに重要文化財の指定を受けていたが、これらを統合し、新たに明らかになった聖教類を追加することで、史料群の全体像を把握することができる。鎌倉時代の浄土宗や禅宗などの鎌倉新仏教、真言宗をはじめとした旧仏教を問わず仏教史はもちろんのこと、政治史のみならず武家の文化を解明する上で欠かせない第一級の史料である。
基準	国宝及び重要文化財指定基準国宝 (重要文化財のうち学術的価値の特に高いもの又は我が国の文化史上特に貴重なもの)

第5回学習会

『源平の盛衰過程と頼朝・金沢』

(『新版 かねざわの歴史事典』編集委員長)

熊谷 哲 氏

開催日：平成28年9月10日(土)

9：30～12：00

会 場：金沢地区センター

大会議室



講師：熊谷 哲 氏

【概 要】

今回は、“わ”会 会員の熊谷 哲氏(『新版 かねざわの歴史事典』編集委員長)による『源平の盛衰過程と頼朝・金沢』についての講義を受けました。

講義は、用意されたレジュメにそって(というよりも講義内容がそのままレジュメになっている)、そして若干のプロジェクター画面の使用で、熱く語られた。

講師の熊谷氏は九十歳を超えていらっしゃる(と聞いています)のに、記憶力のすごさ、知識・内容の豊富さ、深さに驚くと共にその講義内容はまったく厭きの来させないものであった。また、講義で発声される声は大きく、しっ

かりなさっていて、これもまた驚きのものでした。

ここに小生の役目として「源平の盛衰過程と頼朝・金沢」学習会の概要をまとめて記述記載しなければならないのですが、小生が間違った認識、受け止めかたで概要を記述してしまうと申し訳ないし、講義内容＝講義レジュメ＝講義概要と考え、学習会概要としてはレジュメの項目の記載で学習会の概要といたします。

その項目の内容は余話も含め、配布のレジュメにて参照いただきたく思います。その方がベターで確実です。

『源平の盛衰過程と頼朝・金沢』

I 源氏と平氏

1. 源氏

- ・ 経基王を始祖とする清和源氏(資料1の略系図参照)
- ・ 河内源氏

2. 平氏(資料2の略系図参照)

- ・ 高棟王流桓武平氏
- ・ 高望王流桓武平氏
- ・ 伊勢平氏

レジュメの修正・・・(P2の「伊勢平氏」の項：伊賀国→伊賀国の所領の一部。)熊谷氏より

3. 高望王流桓武平氏の東国下向

- ・ 地震や富士山の噴火などの地変(資料4参照)
- ・ 律令軍団の崩壊
- ・ 反乱や群盗の横行

II 平安時代における源平の盛衰に関連する主な出来事

(1ページの「桓武平氏・清和源氏の略系図と関連する事件」を参照)

1. 平将門の乱(935～940) (余話あり)
2. 藤原純友の乱(939～941)
3. 安和の変(969)
4. 平忠常の乱(1028～1031)
5. 前九年の役(1051～1062) (余話あります)

レジュメの修正・・・(P3の「前九年の役」とP4の「後三年の役」の項：阿部氏→安倍氏：
5箇所)熊谷氏より

6. 後三年の役(1083～1087) (余話あり)
7. 源義親の乱(1107～1108)
8. 保元の乱(1156) (余話あり)
9. 平治の乱(1159)
10. 平氏政権(1167～1185)
11. 治承・寿永の乱(ちしょう・じゅえいのらん)(1180～85)=源平合戦のこと。
12. 奥州征伐(1189)
13. 鎌倉幕府の成立
14. 河内源氏の主流滅亡(1219)

III 源頼朝と金沢

1. 瀬戸神社の創建伝承
2. 浄願寺
3. 琵琶島神社
4. 福石
5. 頼朝金沢遊覧(資料5参照)
6. 貞暁(じょうぎょう)(1186～1231)
7. 源範頼(みなもとのよりのり)(?～1193)

8. 富岡八幡宮

付 文化の変遷

資料1 清和源氏略系図

資料2 桓武平氏略系図

資料3 坂東八平氏略系図

資料4 平安前中期の地変(抄)

資料5 源頼朝金沢遊覧図

〈柴崎 幸治 記〉

2016年度第5回学習会アンケート集計と実施報告

1. アンケート集計

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	68	10	78(75.7)	0	78	
女	9	2	11(64.7)	0	11		
計	77	12	89(74.1)	0	89		

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
35名	13名	3名	0名

- ・ 解り易いご説明で良かったです(6)
- ・ 丹念に準備され大変理解しやすかったと思います
- ・ ある程度の知識はあったがこのように時系列的に整理頂き、大変わかり易く面白い講演であった熊谷さんの熱演に心からお礼申し上げます
- ・ 講師の博学と令(とし)に関係のない力強い話し方に感銘した、大変勉強になりました(4)
- ・ 熊谷講師の博学に関心させられました、増々のご発展を祈ります(2)
- ・ 源氏、平氏混乱していた頭の中があらためて整理出来ました
- ・ 源平の盛衰について詳細に説明して頂いた、わかり易く興味深くお聞きした(3)
- ・ 源平合戦の講演がよかった
- ・ 話がわかり易く面白かったこと、断片的に種々聞き知っていたことのまとめの意味が大きかったこと
- ・ 源平のこと少し分りました、頼朝と金沢は興味深かったです
- ・ 非常に内容の濃い講義であった、すごく Study されているので感心した、良くまとまっているので今後も参考にしたい。頼朝穴倉を見逃したのは梶原景時とっていましたが熊谷直実ですか。愚管抄の話はどこに
- ・ 源氏、平氏の流れ全体をわかり易く話してくれた、講師の勉強の深さと広さに敬意を表する
- ・ 内容が詳細に書かれ、わかりやすかったです

- 学習会資料が今後の勉強に役立ちそうです、唐風の画像がレジュメと画面で違っていました
画面が良い
- 系統だった源平の盛衰が理解できた(3)
- 説明が分かりやすく、無駄がない、流石！また独特の“熊谷史観”も面白かった
- 源氏、平氏の発祥の経緯がわかった(3)
- 細かい説明がよかった(補足の解説)
- 頼朝が金沢に来ていないというのがショックだった
- 関心のある時代を判り易くお話しいただき為になりました
- 浅学の小生には大変ありがたい講話でした
- 金沢との関係の話、特に有益であった
- 文中の説明図(P1、4)が小さく残念

3. 熊谷講師に希望する講演テーマについて

- 六浦の歴史について
- 金沢の歴史について
- 今後も今回と同じような講演を願いたい
- 歴史は流れを知ることとおっしゃっていましたが、今日の続きをお願いします
- 足利尊氏や南北朝時代の講話をしてほしい、～応仁の乱まで
- 金沢藩～六浦藩の藩主米倉家の歴史について
- 違うテーマで
- 政子についてもっと知りたいです
- 氏の歴史研究の過程を自伝風に語っていただけたらと思います
- 「学習会」でというより、別の機会にでも「事典編集」の苦労話など
- 特にテーマはありませんが是非、熊谷さんの話をまた聴きたいと思います
- 仏教文化の変遷について(特に仏像、宗派を中心として)熊谷氏のお説を伺いたい

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェックなし
21名	22名	2名	6名

- 継続会員、探訪の受付とも短時間に捌いた(2)
- 会場(席)の余力
- 冷房効き過ぎ
- レジュメ、スライドが見やすかったです

5. “わ”の会について

- 活字を大きくしていただきたいです

以上

第6回 学習会

「杉田界隈を巡る」

探訪実行委員会

開催日：平成28年10月14日（金曜日）

ガイド：探訪実行委員会

コース：杉田駅ビル東急プラザ（集合）⇒熊野神社⇒東漸寺（昼食）⇒杉田の煎海鼠⇒杉田商店街（間宮一族）⇒旧杉田劇場（横浜市電）⇒杉田八幡神社⇒妙法寺（法話）⇒解散

配布資料：探訪用レジュメ（9頁）、杉田の梅林（妙法寺）、案内図

【概要】

今年の探訪は、金沢区と隣接している磯子区杉田地区です。今の杉田は金沢埋立地先に立地している工場群の入り口程度の認識ではないでしょうか。創建1000年にならんとする寺社の存在、江戸時代からある梅の名所「杉田梅林」、近代の物であるが既に姿を消してしまった物など、現地を歩いて、改めて隣町「杉田」を知る機会になればよいと思います。場所柄工場等の見学も検討しましたが、見学を受け付けない、見学の条件の折り合いがつかない等制約があり、寺社中心の探訪となりました。

今回の探訪は4班編成とし、1班金久保・2班白井・3班吉田（寿）・4班今井各氏にガイドをお願いし、各班に1～2名の実行委員を配置する体制としました。

当日は会員皆さんの出足がよく、予定時刻より早く班編成が整い、注意事項等の後、ガイドの第一声で探訪のスタートが切られた。杉田駅では、京浜急行の前身湘南電鉄がこの駅を建設したこと、目の前にある小さな祠は安全祈願のために祀られた等の説明がなされた。

9時50分最初の訪問先、熊野神社へ向け出発、薄曇りながら歩くには絶好の探訪日和であった。狭い道を通り熊野神社に到着。神社階段下にある

句碑を見て、社殿に通じる急な階段を上る。今回のルートはほぼ平坦であるが、この神社の階段が唯一の難所であった。ほとんどの人がこの階段を利用、参拝後、江戸名所図会「杉田村梅林」に描かれている眺望がみられる展望台へ。



熊野神社からの眺め

そこからの眺望は梅林と海はなく、工場と住宅、時折走る電車が見えるだけ。200年程度の時差で大きな変貌があったことを実感しました。地元では開発などで激減してしまった梅林を、杉田梅という樹種を使い復活させる動きが始まっているようです。

狭い道路を車に気を付けながら、次の訪問先東漸寺へ。途中杉田小学校の前で、杉田東漸寺貝塚について説明をうけた。校庭を見ると杉田梅が植えられていました。予定時間より早く東漸寺に到

着した。お寺の好意で釈迦堂を開扉していただき、普段は拝観が難しい釈迦堂内部を拝観することができました。



釈迦堂を開扉



御本尊の釈迦如来坐像

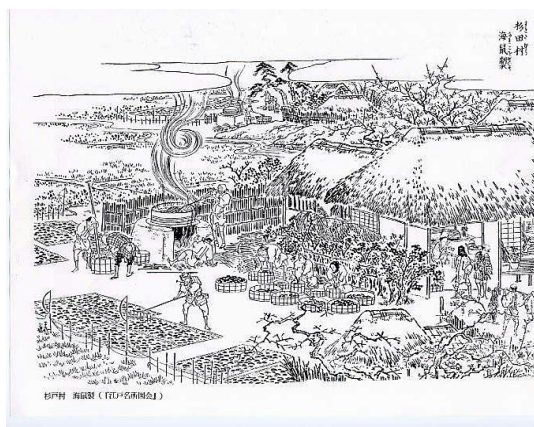


永仁の鐘

境内墓地の中にある斎藤榮「執筆殺人供養碑」は、昭和年代に建立された碑だけに新しく斬新なもので、熊野神社で見た句碑とは趣が大変違うものであった。

昼食は東漸寺会館を利用、参加者全員が入れなかったため交代での食事となりました。境内には適当な休息場所が少なく、各班は予定より若干早めに出発することとなった。

午後の最初は、杉田商店街付近にある杉田の煎海鼠案内板



煎海鼠案内板

聖天橋跡、間宮氏と杉田陣屋跡へ。この辺りは通りも狭く、また大勢の通行人と騒音で、ガイドは説明場所の選定などで苦労されていました。

続いて国道を横断し旧杉田劇場跡へ。案内板前で杉田劇場と美空ひばりについて、さらに昭和42年まで走っていた横浜市電と終点杉田停留場について説明されました。



旧杉田劇場跡

再び国道を渡り杉田八幡神社へ。騒音がなくな

り神社に隣接する幼稚園から元気な園児たちの声を聞きながら参拝、ガイドの説明を受けました。



杉田八幡神社

の山に梅の木を植えたが半数近く枯れてしまったため、麓で育て山に移植する予定であるが、梅林として見られるのはかなり先になるだろうと話された。



仁王尊二体を担ぐ 日荷上人



杉田八幡神社狛犬一对

次は最後の訪問先である妙法寺へ。門前の銘木ビャクシンに迎えられ、境内をゆっくり拝観後、



妙法寺本堂

住職の法話をいただきました。真言宗から日蓮宗に改宗した経緯を話された後、真言宗との縁で日蓮宗の寺院であるが弘法大師の像を祀っていること。また、梅林を復活したいとの思いで、境内

宗教の話に移り、住職は元科学者であり宗教とは無縁であったが、突然宗教界に入り、宗教そのものが理解できず苦しんでいたが、荒行の修行中に生きるこの意味について思いあたった。「生きる」ということは、身体の中で起こる化学反応で生命が維持されることである。しかし「なぜ生きる」となると、宗教の力を必要とする。信仰によって心をコントロールすることができるようになると苦しみがなくなり、真理を目指す力が出てくる、結果心を磨くことができ、「なぜ生きる」かの答が見えてくる。そして正しく生きる教えがあればどの宗教を信仰してもよいと話されました。日蓮宗の僧侶としてのお話ですが、日蓮宗と関係なく「なぜ生きる」を語られるのは厳しい荒行を体験された結果と感じました。また葬儀の参列の仕方について苦言がありました。通夜は亡くなられ方と一夜を過ごす、告別式は別れの式で、通夜に行ったから告別式は行かなくともよいということは、間違いであるとのお話があり、亡き人との別れ方を教えていただきました。法話の後、住職の案内で本堂を拝観することができました。

最後に妙法寺内で、内田代表、江口実行委員長の終了の挨拶があり、探訪は予定どおり終了しました。今回の探訪先には、スペースがなかったり人通りの多い所があり、ガイドの気苦労は大変であったと思います。また、参加された皆様方の適

切な行動により、事故もなく無事終了できました。
 ご協力ありがとうございました。
 来年は「小田原」を予定しています、詳細計画は
 これからですが、会員皆様方の期待にこたえられ
 る探訪にしたいと考えています。
 (杉山茂 記)

2016 年度第 6 回学習会（探訪）アンケート集計と実施報告

1. アンケート集計

出席者		一般会員	委員	計（出席率%）	ビジター	計	アンケート（提出率%）
	男	42	7	47(46.1)	0	49	
女	6	2	7(41.2)	1	9		
計	47	9	54(45.4)	1	58		

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
24 名	13 名	3 名	0 名

- ・知らない所ばかりで身近な地域で大変興味深く歩くことが出来た
- ・近隣に住み乍ら知らなかった事を学んだ
- ・テーマにそった内容を一日楽しく習得出来ました
- ・限られた狭い地区であったが、良くまとまった探訪でした
- ・富岡在住で近場であるが初めて訪れた所もあり、非常にいい学習会であった、他日個人で再訪したく
 思います、いい資料で Study したい
- ・杉田がどういう歴史をもっていたか初めてしりました
- ・杉田界隈の中でこれまで巡ったことのないルートを紹介して頂き貴重な経験でした
- ・杉田の歴史が勉強出来た
- ・杉田駅は通過駅なので知らない所があったので面白かった
- ・ガイドが大変勉強し、詳しく寺社の説明が良かった
- ・ガイド、資料共に良かった
- ・説明の方の事前によく勉強され、分かり易く説明してくれた(2)
- ・ガイドさんはていねいな説明でした、妙法寺のご住職の法話がよかった
- ・白井さんの説明が非常に詳しく、よく勉強されていますね
- ・ベテラン白井ガイドの説明は丁寧かつ要を得、説明ファイルを活用され、大変良かった
 杉田の 2 つの寺の境内の広さ、歴史ある建物など初めて見学できて良かった
- ・2 班 白井さんの案内、詳細で丁寧。杉田界隈あらためて理解を深めた
- ・ガイドさん説明が良く、解った、杉田梅林が出来た経緯が理解出来た

- ・私は杉田に30年以上住んでいたが、東漸寺に入ったことがなかった、こんなにも立派な建物があったとは知らなかった、妙法寺がとてもよかった
- ・近くにこれほど立派な社寺があったのに知らずに過ぎてきました、今日の探訪はすばらしく有難うございました
- ・こんな狭い範囲の探訪で何かと思ったが最後の講話がよかった
- ・住職のくだけた法話が良いです、特にお通夜、告別式の件
- ・妙法寺の住職の説話は私の心のステージを押し上げていただけ、うれしい
- ・妙法寺住職の法話良かった
- ・妙法寺の法話は分かり易くおもしろかった(2)
- ・妙法寺の法話良かった、寺内をくまなく拝観させて下さり有難かった、仏法、仏像の説明も良かった
- ・大変おもしろく、ためになるお話でした
- ・ざっくばらんであまり仏教にうとい者でもよく理解出来た、歩く距離も無理なくちょうどよかった
- ・妙法寺の境内が大変よかった

3. 探訪の希望テーマについて

- ・六浦地区
- ・今回の様に近隣の学習もよいと思います
- ・金沢地域での中世の名残りを探訪したい
- ・「金沢観音めぐり」をお願いします
- ・金沢区外の探訪も興味があります(街道続きをお願いします)
- ・三浦氏関係→逗子、葉山
- ・小栗上野介について
- ・横須賀旧軍遺跡巡り
- ・横須賀市の戦争遺跡を巡ってみたい(観音崎、猿島など)
- ・臨海部の工場団地の工場見学
- ・戸塚南、港南方面
- ・鎌倉方面
- ・特になし と言うコメント

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
19名	13名	4名	1名

※チェック無し：3名

- ・ガイド役の方のお話がわかりやすく良いと思ったのです
- ・スケジュール、ハードすぎる感がある
- ・距離的に短かすぎた
- ・役員の方々は大変良くやって居られたと思う
- ・会員の流れがよかった、また説明者が大変よかった
- ・市街地内で60名近い人数を御苦労さまでした

- 行動の管理が行き届いていた
- 説明もよく勉強されており分りやすかった、運営移動もスムーズ
- 時間に余裕がある運営で良かった
- 時間的にも余裕があり、説明もいき届いて得るところ大でした、金沢区に關係あり乍ら離れた地区で良い企画だと思いました
- 班により回るバラ付きが多く、待ち時間が長かった
- 第1班の待ち時間が非常に長かった
- 時間配分につき検討を要する、班毎の間隔があきすぎた
- 食事場所が狭く、班と班の連携が今一つ
- 探訪先が少なかったこともあるが、やや間のびした感がある
- 自前の探訪ご苦労様でした、レジメも分かり易かったです
- ガイド説明が本文説明読みで分かりにくい、ガイド本筋を離れた雑学も聞きたい
- 班の責任者の説明、ていねいで感謝です
- 役員の皆さんの事前の準備が行届いており、大変よい運営だったと思います
- 全体的に変化に富んだコースで楽しかった、話もよく勉強しておられ、大変勉強になった

5. “わ”の会について

- コメントなし



横浜名所 杉田ノ梅林

会員の動静

お悔やみ申し上げます

次の二名の会員の方がご逝去されました。生前、“わ”の会にご尽力を賜り、心から感謝いたしますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

池谷 春夫氏（金沢区）2016年 逝去。 76歳

小山 信二氏（金沢区）2016年9月16日 逝去。 72歳

2016年 「寺社を巡る会」活動記録 第3回～6回

第3回 DVD 観賞「百寺巡礼」

開催日 : 平成28年8月4日(木)

開催場所 : 富岡並木地区センター

参加人数 : 男性32名(内ビジター1名) 女性8名(内ビジター1名) 合計40名

DVD鑑賞 「五木寛之・百寺巡礼」

知恩院	浄土宗	創建：承安5年(1157年)	京都市東山区
本法寺	日蓮宗	創建：永享8年(1436年)	京都市上京区
法然院	浄土宗系単立法人	創建：延宝9年(1681年)	京都市左京区
禅林寺(通称 永観堂)	浄土宗	創建：仁寿3年(853年)	京都市左京区

今回は京都市内の4寺を鑑賞した。多くの皆さんが訪れたことのある古刹であり、いずれもなじみ深く、併せて五木寛之氏の解説は、いつもながら穏やかに分かりやすく興味深く鑑賞した。

従来の本企画は5寺～6寺ずつ鑑賞していたが、時間的にやや窮屈で今回から4寺とした。引き続き、年2回「百寺巡礼」を継続していきたい。

(寺田英男 記)

第4回 禅の源流・建長寺の清風

開催日 : 平成28年9月9日(金)

参加人数 : 男性31名(内ビジター1名) 女性6名 合計37名

コース : JR北鎌倉駅～建長寺～回春院(建長寺塔頭)～円応寺(建長寺境外塔頭)～

JR鎌倉駅 (解散)

円覚寺山門下に集合、建長寺へ随時参集して探訪を開始した。9月とは言え、真夏の様な炎天下を歩き、建長寺に辿り着いた時には広々とした境内を吹き抜ける涼風に生き返る心地がした。『天下禅林』の扁額が掲げられた西の外門で建長寺創建の経緯を聞いた。開山は宋の高僧蘭溪道隆(諡号:大覚禅師)、開基は鎌倉幕府五代執権北条時頼、鎌倉五山第一位、わが国最初の禅寺である。約760年の永きに亘り生き抜いてきた仏殿前の巨大な柏楨群(名勝史跡・新日本名木百選)を見た時、当寺の歴史の重みを実感した。三門(山門)脇に『福山はすべて松関を閉じず、無限の清風来たりて未だやまず』という蘭溪道隆の言葉が掲示されていたが『建長寺はあらゆる人々(修行者)に門を開放している』ことを表しているということである。

建長寺の本尊が祀られている重文の仏殿へ入り、地蔵菩薩座像を参拝した。この仏殿は東京芝の増上寺に建てられていた徳川二代将軍秀忠夫人(崇源院:お江)の霊屋の拜殿を移築したものという。この地は地獄谷と呼ばれる処刑場の跡地であったということなので、

六道(地獄道・餓鬼道・畜生道……等)を輪廻する衆生を救う菩薩と言われる地蔵菩薩が祀られたのではと推察された。

回春院は建長寺塔頭の一つであるが、建長寺開山の蘭溪道隆の諡号に因む大きな大覚池が印象的な塔頭である。この地はかつて地獄谷と呼ばれ、罪人の処刑場であった。この地にあった地蔵堂(心平寺)に祀られていた地蔵菩薩が建長寺創建にあたり建長寺仏殿に移され祀られている。

最後に円応寺を参拝した。中央に運慶作と伝わる重文の本尊閻魔大王座像(木造)が鎮座し、左右に各回忌を司る王が祀られている。不思議だったのは、閻魔大王の説明文に『地蔵菩薩の化身である』、初七日を司る奉広王が『不動明王の化身である』と書かれていたことである。神仏混交と似たような状況が、道教の十王思想と日本の仏教の間に起こったのではないかと思った。

蘭溪道隆『無限の清風来たり』という言葉通り、禅林の清風を感じた一日であった。

(飯富 禧子記)



建長寺仏殿



大覚池越しの回春院本堂

第5回 藤沢・遊行寺と義経を訪ねる

開催日 : 平成28年10月6日(木)

参加人数 : 男性27名(内ビジター2名) 女性7名 合計34名

コース : 藤沢駅～庚申堂～遊行寺(長生院含む)～御殿辺公園(昼食)～白旗神社～
伝義経首洗井戸～永勝寺～荘厳寺～常光寺～藤沢駅 (解散)

藤沢駅北口、2F サンパール広場に集合。江ノ島に参詣する人々のため、杉山検校が寄進したと伝えられる江ノ島道標に沿って歩き、途中、庚申堂に立ち寄る。堂内の江戸時代前期の作との青面金剛立像は拝観出来ず、60年に一度庚申の年にご開帳されるとのこと。次は2040年。

次は遊行寺橋を渡り、藤沢山無量光院・清浄光寺 俗称：遊行寺(時宗・総本山)を訪ねる。日本三大黒門の一つ冠木門をくぐり境内に入る。本堂は正中2年(1325)4代目吞海上人による創建以来、幾度か災害を受け昭和12年に関東随一の木造建築(1500人収容)として再建された。堂内にはご本尊の阿弥陀如来座像、一遍上人像、吞海上人像が安置されている。なお、境内には幾度の火難など受けながらも、樹齢700年余の生命力の強さを誇る大銀杏。そして歌舞伎や浄瑠璃などで知られる小栗判官、照手姫ゆかりの長生院(小栗堂)。金沢区にも照手姫にまつわる伝説や地名が存在することに、遊行寺と金沢を結ぶ仏縁を感じた。

その後、徳川家藤沢御殿の跡地に作られたという御殿辺公園で昼食を摂る。

午後の最初は白旗神社(祭神)寒川比古命、源義経。文治5年奥州・衣川で自刃した義経の首がこの地で葬られたと伝えられ、宝治3年祭神として合祀されたという。続いて伝義経首洗井戸へ。鎌倉片瀬の浜での首実験のあと、あげ潮にのって境川をのぼり、この地に漂着した義経の首を、里人が洗い清めたといわれているこの井戸は、手入れ等が行き届き、武将義経の悲運に対する同情、親愛、などを受け継いでいる地域住民の気持ちが伝わる。

次は永勝寺(浄土真宗)、山門を入った左側に、飯盛旅籠を営んでいた小松屋源蔵の墓を囲むように、当時としては手厚く供養してもらえた39基の飯盛女の墓があった。次は荘厳寺(真言宗)、藤沢では最も古い寺の一つで本尊の不動明王は運慶の作と伝えられ、源義経の黒塗りの位牌が祀られている。最後は常光寺(浄土宗)、本尊の阿弥陀如来(伝快慶作)は鎌倉扇が谷の阿弥陀堂から移されたもの。本堂裏の弁慶塚には例年、白旗神社の秋期祭礼神輿が回ってくるという。(近藤健 記)



遊行寺本堂



義経を祭神として祀る白旗神社社殿

「懐かしの映画を観る会」 鑑賞録 NO.20

代表 佐藤 晃

平成 28 年度第 7 回 鑑賞会

<鑑賞日：2016・7・11>

いつか晴れた日に Sense and Sensibility

製作：1995 年 米・英映画 上映時間 136 分
監督： アン・リー 原作 ジェーン・オースティン 脚色 エマ・トンプソン
主演： エマ・トンプソン、ケイト・ウィンスレット、ヒュー・グラント
アカデミー脚色賞： エマ・トンプソン

(あらすじ)

19世紀初頭、イングランド南西部サセックス州、私領ノーランド・パークの主、貴族のヘンリー・ダッシュウッドは臨終の席で、先妻の息子ジョンに後妻のダッシュウッド夫人と3人の娘たちの世話を託して死ぬ。ジョンは彼女たちの世話をしようとするが、強欲な妻のファニーの反対で、その約束は反故となる。ファニーは屋敷に乗り込むと主人風を吹かせ、ダッシュウッド夫人従兄のジョン・ミドルトン卿の申し出を受け、3人の娘と共に彼のコテージに移り住んだ。ミドルトン卿と義母のジェニングス夫人の歓待を受けて、母娘はつましい暮らしを追いたてようとする。分別のある長女のエリノア（E・トンプソン）は礼儀を尽くすが、多感な次女のマリアンヌ（K・ウィンスレット）は嫌悪の表情を見せ、お転婆な三女のマーガレット（エミ

リー・フランソワ）は隠れているばかりである。そんな折、ファニーの弟のエドワード・フェラス（ヒュー・グラント）がパークを訪れる。礼儀正しく控えめなエドワードにエリノアは心惹かれ、二人は親密の仲となる。二人の結婚を夢見るダッシュウッド夫人だったが、ファニーが夫人を侮辱したため、怒った夫人はを始める。そこへジョン卿の親友で隣のブランドン大佐（アラン・リックマン）が来訪し、一目でマリアンヌに心を奪われる。ところが、散歩の途中に転倒して足を捻挫して救いを求めるマリアンヌを助けたジョン・ウイロビー（グレッグ・ワイズ）にマリアンヌは恋の虜になった。一方、エリノアはエドワードがいつコテージを訪れるか心待ちにしているが、音沙汰はない……

(解説)

18世紀の女性作家ジェーン・オースティンが1795年に発表した小説『分別と多感』の映画化である。脚色は本映画で主演を務めたエマ・トンプソンが行い、彼女は映画の脚色は初挑戦であるにもかかわらず、第68回アカデミー脚色賞を女優として初めて受賞した。主要キャストも彼女の人選で英国を代表する映画、舞台の俳優が集結した。監督はニュー

ヨーク・インディーズの旗手である台湾出身のアン・リーを起用した。19世紀初頭の英国の厳しい階級社会で不当に差別される女性たちを描いた映画であるにもかかわらず、観終わった後の印象が明るいのは、女性たちの恋の歓びを前面に打ち出した、E・トンプソンの功績であろう。監督のアン・リーも軽快な演出で、人間味溢れる作品とした。

平成28年度第8回 鑑賞会

〈鑑賞日：2016・7・25〉

ゴッドファーザー I THE GODFATHER

製作：1972年 米国 上映時間 176分

監督：フランシス・F・コッポラ 原作：マリオ・プーゾ監督：

撮影：ゴードン・ウィリス 音楽：ニーノ・ロータ

出演：マーロン・ブランド、アル・パチーノ、ジェームズ・カーン

受賞：アカデミー作品、脚本、主演男優賞(M・ブランド)

(あらすじ)

ヴィトー・コルレオーネ(M・ブランド)の屋敷では、彼の末娘コニーの結婚式が行われていた。一族の者をはじめ、友人やファミリーの部下たち数百名が集まった。ヴィトーはゴッドファーザーと呼ばれ、闇の世界とそのファミリーに絶大の影響力を持っていた。ヴィトーのライバルのタッタリア・ファミリーを後ろ盾にするソロッツオが麻薬取引の話を持ち込むが、ヴィトーがそれをはねつけたので、恨んだソロッツオはヴィトーを襲撃し、マフィア戦争の火が噴いた。ヴィトーの三男のマイケル(アル・パチーノ)は一家とは

関係のない生き方をしていたが、怪我をして入院中のヴィトーのもとにかけつけ、そこにもソロッツオの手が回っている父親の危機を救った。しめしをつけるためには、ソロッツオだけは殺さねばならないと、その役をマイケルが買って出て、ソロッツオと悪徳警官マクラスキーを殺したあと、ファミリーの故郷、シチリアに飛んだ。コルレオーネ家とタッタリア一家との抗争は一段と激しさを加え、ヴィトーの長男ソニー(ジェームズ・カーン)は敵のわなにはまって殺害される……

(解説)

パラマウントは原作者のマリオ・プーゾが原作を執筆中に8万ドルという安値で、映画化権を買い取っていた。小説は69年に刊行され、1年で100万部を越すベストセラーになったが、パラマウントは68年のマフィア映画『暗殺』の大赤字に「イタリアマフィア映画は成功しない」とみて、200万ドルという低予算で71年に映画化に着手した。低予算だから制作費を安くするため、監督、脚本家には当時無名だった、イタリア系アメリカ人、フランシス・F・コッポラが起用された。コッポラは当時、31歳と若かったが、天賦の才能が開花して、映画史に残る歴史的名作をつくりあげた。この映画は単なるニューヨークマフィアの争いの映画ではない。コルレ

オーネ一族の家族の物語でもある。家族愛を映画の中心に置くことによって普遍性を帯び、厚みのある人間のドラマとなった。映画製作の経験の浅いコッポラはベテラン映画監督顔負けのすぐれた手腕により、3時間近い大河ドラマを成功させた。時に流れるニーノ・ロータの哀愁を帯びた甘い旋律は映画にロマンチズムを加えている。娘の洗礼式の合間に他のファミリーのドンを殺していくラストシーンは、巧みなカットバックにより、衝撃的である。この映画は全米映画協会のアメリカ映画ベスト100では第2位(1位は『市民ケーン』)を占め、日本のキネマ旬報の世界ベスト200では第1位を得ている。

平成28年度第9回 鑑賞

〈鑑賞日：2016・8・8〉

怪談

製作：1964年 文芸プロにんじんくらぶ 上映時間：183分
監督：小林正樹 原作 小泉八雲 脚本 水木洋子
出演：三国連太郎、新珠三千代、渡辺美佐子、仲代達矢、岸恵子、望月優子、
中村嘉津雄、中村翫右衛門、滝沢修、杉村春子
受賞：カンヌ国際映画祭審査員特別賞

(あらすじ)

黒髪

昔、京都で貧しい暮らしを送っていた武士(三国連太郎)が、ようやく仕官の道を得て、妻(新珠三千代)を捨てて任地に向かう。そこで家柄、財産に恵まれた新しい妻(渡辺美佐子)を迎えたが、我儘で冷酷な女であった。男は今更のように別れた妻を思い、後悔した。ある晩秋の夜、荒廃した京の家に戻った男は針仕事をする変わらぬ妻の姿を見て、今までの自分の非を詫び、妻をいたわり、一夜を共にした。夜が明け男が目にしたのは……

雪女

武蔵國の若い樵夫巳之吉(仲代達矢)は、茂作老人と森に薪を取りに入ったが吹雪に出会って、山小屋に閉じ込められた。その夜、老人は雪女に白い息を吹きかけられて殺された。雪女は巳之吉に「今夜のことを話したら殺す」と言い残して消えた。1年後、巳之吉は森の帰りに美しい女(岸恵子)に出会い妻を迎え、3人の子供に恵まれ、幸せな日々を送っていた。ある雪の夜、子供たちの晴れ着を縫う妻の姿を見て、山小屋の雪女を思い出し話を始めた……

耳無芳一の話

盲目の琵琶法師の芳一(中村嘉津雄)は、ある夜、芳一の前に現れた甲冑姿の男に「高貴な人に琵琶を聴かせるため迎えにきた」と言われ、ある場所に連れて行かれる。芳一はそこで「平家物語」の壇ノ浦の合戦を心をこめて歌った。それから武士は毎夜のように芳一を迎えに来て、芳一も繰り返し琵琶を奏するのである。毎夜の芳一の行動に不審を抱いた住職は、寺男に芳一の後を付けさせる。そこで寺男が見たのは……

茶碗の中

中川佐渡守の家臣の関内(中村翫右衛門)は、年始回りの途中、茶店で水を飲もうと茶碗に水を汲み、顔を近づけるが茶碗の水に見知らぬ男が映っているのに気付く。水を入れ替えたり茶碗を変えても同じ男の顔が映っていた。結局、彼は男の顔が映っている茶碗の水を飲み干した。その夜、佐渡守の屋敷に戻った関内を見知らぬ男が訪ねてきた。その顔は茶碗の中の不思議な顔だった……

(解説)

日本に帰化した小泉八雲こと、ラフカディオ・ハーンが残した怪談から4篇をオムニバス形式で映画化した。監督の小林正樹は撮影の宮島義勇、美術の戸田重昌、音楽の武満徹等、日本映画を代表するスタッフと、俳優陣もオールスターキャストを揃え、豪華な映画

を作った。小林監督はこの映画を「恐怖映画」ではなく、美意識に徹し、この世の世界ではない「耽美」の世界に観客を誘う。完成した作品は制作費の予算を大幅に超え、それが原因で『にんじんくらぶ』は解散した。

平成28年度第10回 鑑賞会

〈鑑賞日：2016・9・12〉

柘榴坂の仇討

製作：2014年 「柘榴坂の仇討」製作委員会

上映時間 119分

監督：若松節朗

原作：浅田次郎 『五郎治殿御始末』（中央公論新社）

脚本：高松宏伸、飯田健三郎、長谷川康夫

主演：中井貴一、広末涼子、阿部寛、中村吉右衛門、藤竜也、高嶋政宏、真飛聖

（あらすじ）

彦根藩の下級武士、志村金吾（中井貴一）は家中随一の剣術の腕を認められ、藩主である大老、井伊直弼（中村吉右衛門）の近習に取り立てられた。直弼の人柄に惚れこんだ金吾は命に代えても直弼の命を護ることを誓った。しかし、安政7年の桜田門外の騒動の際、金吾は、下手人の一人、佐橋十兵衛（阿部寛）を追いかけてすぎてその間に直弼は水戸浪士たちに討たれてしまう。主君を護れなかった大罪を犯した金吾に対して、打首の処罰を考えたが、金吾の罪を金吾の両親に免じて、彦根藩は打首を取り下げ、その代わり「水戸浪士

たちを討ち、その首を直弼様の墓前に供えよ」との命令を下した。金吾は妻のセツ（広末涼子）に実家に戻るよう命ずるがセツは承知せず、江戸に残って金吾を助けることになった。敵を探して全国を歩き回る金吾だったが、水戸浪士たちは見つからず13年が過ぎ、明治6年となった。廃藩置県により、既に彦根藩は存在せず、新政府の改革により武士は姿を消していた。桜田門外の騒動に係わった水戸浪士たちも次々と死んでいき、ただ一人生き残ったのは金吾がかつて追い詰めた十兵衛だけとなった…

（解説）

久しぶりに観る堂々たる風格のある時代劇である。安政7年の桜田門外の変から明治6年の仇討禁止令が公布された13年間の二人の武士の生きざまを描いている。下手人の首を主君の墓前に供することを命じられた金吾は、時代が徳川時代から、明治に変わってもひたすら犯人を探し尋ねている。金吾を支えていたのは“武士の矜持である。”そして、直弼の人間性に惹かれた“情”であろう。仇討禁止令が公布されても金吾の心は変わらない。金吾の心が動いたのは、雪の降る柘榴坂の決

闘で、相手は斬られることを待っていたことを知ったからである。その時、金吾は彼を赦し、自分も生きることを選ぶ。この映画の公開当時、金吾の生き方を、時代錯誤との評もあったが、若松節朗監督は「一人の男の潔い生き方」を描きたかったと語り、その潔い生き方がこの映画の大きな魅力になっている。また下手人の十兵衛も逃げ隠れするのではなく、俤引きとして素顔を表にさらし、いつでも打たれる覚悟をしているのもまた清々しい。

平成28年度第11回 鑑賞会

〈鑑賞日：2016・9・26〉

恋の手ほどき

Gigi

製作：1958年製作 アメリカ映画 上映時間 116分
監督：ヴィンセント・ミネリ
製作：アーサー・フリード
出演者：レスリー・キャロン、モーリス・シュヴァリエ、ルイ・ジュールダン
受賞：アカデミー賞 作品賞、監督賞を始めとする9部門受賞、ゴールデングローブ賞

(あらすじ)

ジジ(レスリー・キャロン)は、祖母のマミタに育てられている無邪気な少女だ。マミタは妹のアリシタにジジの教育を任せている、アリシタは昔、社交界でならした一級の貴婦人である。そのもとへ、ジジは学校が終わるとお行儀、作法のお勉強に通っている。将来は社交界の花形にしようとするマミタお祖母さんの夢でもある。マミタの古くからの友人で金持ちで粋人のラシェイク(モーリス・シュヴァリエ)もジジが好きだ。彼の甥のガストン(ルイ・ジュールダン)も無邪気なジジに好意を持っている。ガストンは砂糖王の二世として豪華な生活をしており、そのために人生に退屈しきっている。反対に叔父さんは、人生の総てが快樂の対象になるという楽道家

である。若く美しい友人が現れる度に、マキシム・カフェに社交界の友人を多数招待して、盛大なパーティーを開いている。このパーティーは社交界のバロメーターで、陰口と誇示と羨望が渦巻く豪華なもので、ガストンは常にリアネという美女と同伴で現れた。このリアネとスケート場の教師があやしいとの噂が立った。ガストンはリアネと縁を切り、教師をパリから追放した。傷心の甥のため、ラシェイク氏は毎晩、豪華な宴を開いた。しかし、ガストンの心は晴れない。ジジー家と叔父さんと海に行った時、つくづくジジの社交界にない清純さに惹かれ、愛を感じた。マミタお祖母さんは、ガストンこそジジの旦那様であると信じていた……

(解説)

女流作家コレットの舞台劇「ジジ」のミュージカル映画化である。MGM映画でミュージカル映画の黄金時代を築いたプロデューサーのアーサー・フリードが製作を担当し、監督にヴィンセント・ミネリを起用、主題歌「ジジ」をはじめ9の歌曲をフレデリック・ロウが担当してミュージカル映画とした。ジジにはフランス生まれのレスリー・キャロン、ガストンにはルイ・ジュールダン、狂言回しに

モーリス・シュヴァリエを配した。さすがにアーサー・フリードの手になる映画だけに、10週間に及びパリのロケを敢行し、ブローニュの森やチュイルリー公演、マキシムのロケのおまけもついて豪華絢爛たるベル・エポック時代のパリを再現した。この映画は9個のアカデミー賞を獲得したほか、モーリス・シュヴァリエに対しては、アカデミー特別賞を贈ってその功に報いている。

平成 28年度第11回 鑑賞会

〈鑑賞日：2016・9・26〉

旅 情 Summer time

製作：1955年 米・英 カラー 上映時間 100分

監督：デヴィット・リーン

主演：キャサリン・ヘップバーン、ロッサノ・ブラッツィ

(あらすじ)

ジェーン（K・ヘップバーン）は休暇をもらい、秘書生活で貯めたお金でひとりあこがれのヴェネツィアにやってきた。周りはカップルばかりで、一人旅のジェーンはやはり寂しい。サン・マルコ広場のカフェで男性の視線を感じたが、彼女は立ち去る。翌日、入った骨董屋の主人がその男性で、レナード（ロッサノ・ブラッツィ）だった。彼女はレナードに夜のヴェネツィアを案内してもらい、旅の素晴らしさに酔いしれた。レナードに恋をしたジェーンは翌日美容院に行き、着飾って約

束の広場に出かけたが、レナードは来ずに、店の若者がやってきた。父は用事でおそくなるという。こんな大きな子供がいるのかと思うと、彼女の夢はしぼんだが、後からホテルに追ってきたレナードは妻とは別居しているという。動揺する彼女に彼は愛し合うのに理屈はいらないと口説いた。二人は一夜を過ごす。数日が夢のように過ぎた。このままではもう別れられなくなると思ったジェーンは帰国を決意。思い出のヴェネツィアに別れを告げた。

(解説)

水の都ヴェネチアを舞台に、中年にさしかかったアメリカ女性が、つかの間の恋に身を焦がすラブロマンスである。監督デヴィット・リーンは『ローマの休日』のようなおとぎ話でなく、生身の女性の大人の恋の切なさを描いた。中年の女性の一人旅はわびしい。周りはカップルばかりなのに、ひとりぽつんとカフェに座っていても孤独感はつのるばかりである。その心隙にレナードが入り込む。男に妻子があることを知ったジェーンは身を引こうとするが、心の飢えを言い当てられて、二人は結ばれる。夜空に輝く花火、口づけをしたジェーンの手から赤い靴が落ちる。ホテルのカーテンが揺れる。夜明けの人気のないサン・マルコ広場で手をつなぎ、そして寄り添う二人を遠景で撮ったシーンは忘れがたい。

キャサリン・ヘップバーンは当時48歳で中年の主人公を演じた。ヘップバーンは『勝利の朝』（1932）『招かれざる客』（1963）『冬のライオン』（1968）『黄昏』（1981）と4回のアカデミー主演女優賞を得ており、その記録はまだ破られていない大女優である。米国映画協会（AFI）が1999年に選出した「米国で最も偉大な女優50名中第1位だった。」2003年6月、96歳老衰のため死去した。この映画ほど、ヴェネツィアを美しく撮影した映画はないといわれているが、これはデヴィット・リーンの詩的な感覚と、名カメラマン、ジャック・ヒルデヤードの功績である。このコンビは1957年『戦場にかける橋』を生んだ。

平成 28年度第12回 鑑賞会

〈鑑賞日：2016・10・3〉

風とライオン The Wind and the Lion

製作：1975年 アメリカ映画 上映時間 119分

監督：ジョン・ミリアス

脚本：ジョン・ミリアス

主演：ショーン・コネリー、キャンディス・バーゲン

(あらすじ)

1904年のモロッコ。米、独、仏、英の利権を狙う横暴なやり方に怒ったリフ族の首長ライズリー（ショーン・コネリー）は、馬賊スタイルの集団を率いて港町タンジールの瀟洒なアメリカ人の豪邸を襲い、容赦なく使用人を殺し、女主人のイーデンと二人の子供を人質として連れ去った。モロッコの当主のサルタンは列強のいいなりになっていたため、ライズリーは三人の誘拐と身代金の請求でサルタンを苦境に陥れようとするのが狙いであった。一方、アメリカ合衆国では第26代大統領セオドア・ルーズベルト（ブライアン・キース）は、この事件をモロッコにおける利権の拡張と自分の次期大統領選挙に利用しようと画策し、海兵隊をモロッコに派遣する。ライズリーは人質3人を連れて移動するが、山地の本拠に監禁されたイーデンは奮えながら、気の強いところを見せている。イーデン

は一族の一人を買収して子供たちと逃亡するが、案内した男は海岸で彼女たちを別の山賊一味に引き渡す。そこへライズリーが現れ、激闘の末、斬りまくって救い出した。合衆国のタンジールの領事がモロッコの太守を訪れ「人質をすぐ帰すように」と要請したが会談は不調に終わった。合衆国の海兵隊ライフル2個中隊が直ちに上陸し、タンジールの町を行進し、サルタンの宮殿に向かい。激しい銃撃戦の末、サルタンは捕えられた。サルタンは「アメリカ側に多額の銀貨を払い、リフ族の領分から、外国の軍隊をすべて撤退させ、ライズリーと部下たちが町に入ることを許す。その代わり人質はアメリカ側に引き渡す」との約束が成立し、イーデン親子はアメリカ側に引き渡された。しかしライズリーはドイツとフランスの軍隊に捕えられた……

(解説)

実話を元にジョン・ミリアスが脚本を書き、ミリアスが監督した。題名の『風』はルーズベルト、『ライオン』はライズリーを意味し、海を隔てた両者の対決がこの作品のモチーフになっている。監督のジョン・ミリアスはアクション映画の名手であり、「七人の侍」の黒澤明監督を崇拜し、今回の映画でも開巻のタンジールの市内を疾走する荒馬のシーンやい

くつもの立ち廻りシーンにもその影響が見られている。ショーン・コネリーも重厚な演技で、指導者としての貫録を示し、また、C・バーゲンも凛々しく振舞うアメリカ婦人を好演し、ライズリーに対する当初の恐怖心から淡い恋心を抱くようになる心の変化を巧みに演じている。

父親たちの星条旗 *Flags of our Fathers*

製作：2000年 アメリカ映画 上映時間 132分
監督：クリント・イーストウッド 脚本：ウィリアム・プロイレス・Jr、ポール・ハギス
出演：ライアン・フィリップ、ジェシー・ブラッドフォード、アダム・ビーチ

（あらすじ）

ウィスコンシン州で葬儀屋を営むひとりの老人が死んだ。彼の名前はジョン・ドク・ブラッドリー（ライアン・フィリップ）。1945年海軍の衛生兵として硫黄島の戦闘に参加し、海兵隊員と共に激戦を戦い、そこで撮られた一枚の写真によってアメリカ中から“英雄”として讃えられた男である。しかし、彼はその後の人生において硫黄島についてはひとことも語らず、アメリカ中に知れ渡った写真についてもひたすら沈黙を押し通した。硫黄島で何があったのか、なぜ、沈黙を続けたのか。父親の人生を知るために、彼の息子は硫黄島の真実を辿り始める。太平洋戦争の末期、硫黄島に上陸したアメリカ兵は予想をはるかに上回る日本軍の防戦に苦戦を強いられ、姿の見えない敵の脅威にさらされていた。壮絶をきわめる戦闘の中、摺鉢山の頂上に立った星

条旗。その一枚の写真がアメリカ中を熱狂させ、6人の英雄を生み出した。星条旗を掲げた6人の名前は、マイク（ハリー・ペッパー）、フランクリン（ジョセフ・クロス）、ハンク（ポール・ウォーカー）、レイニー（ジェシー・ブラッドフォード）アイラ（アダム・ビーチ）そしてドク。しかし、硫黄島から生きて生還したのは衛生兵のドク、アメリカン・インディアンの出自を持つアイラ、伝令係のレイニーの3人だけだった。祖国に帰還した3人は戦費を工面するためにアメリカ全土を巡る戦時国債キャンペーン・ツアーに狩りだされた。どこに行っても熱烈な喝采を浴び、国民的英雄としてまつり上げられる3人の生還者たち。しかし、英雄扱いされればされるほど、彼らの苦悩は深まった……

（解説）

原作は生還した“英雄”のひとりドクの息子ジェームズ・ブラッドリーとロン・パワーズによって書かれた。この本に惹きつけられたのはクリント・イーストウッドだけではない。スティーブン・スピルバーグは映画化権を獲得し、製作に携わり、『クラッシュ』でアカデミー作品、脚本賞を得た、ポール・ハギスが脚本を書いたのである。イーストウッドは、戦争の真実を知るためには敵、味方双方から描かねば分らないとして、日本側に視点を置いた『硫黄島からの手紙』を作り、アメリカ側の映画として本作品を送り出したのである。映画は三つの局面から成り立っている。

硫黄島戦闘の場面、生還した3人の戦時国債キャンペーンの場面、3人の戦後の生き方の場面だが、映画は順を追って展開せず、三つの場面が錯綜して展開される。イーストウッドは戦場の場面はドキュメンタリータッチで描き、帰国して客寄せパンダの役割を負わされた3人の戸惑いと悩みを通して、茶番劇を繰り返すアメリカ社会の現実をも見据えている。硫黄島の戦いで一命を落とした約6800名の若者たちは、戦友のために死んだのだとイーストウッドは海辺で童心に戻って戯れるラストシーンで物語っている。

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No. 1 4

代表 小俣 悦男

独自コース 39 番「尾瀬ヶ原」 (通算 121 回)

実施日：平成 28 年 7 月 28 日(木)～7 月 29 日(金) 天候 28 日：曇のち雨 29 日：曇ときどき晴
歩行距離など：(2 日間)歩行時間 約 11 時間 歩行距離 約 28km 参加者：13 名(男性 9 名 女性 4 名)

尾瀬所在地：群馬県・福島県・新潟県

交通：＜往路＞JR 東京駅 6：36 発(上越新幹線 max たにがわ 401 号)⇒上毛高原駅 7：53 着。

上毛高原駅 8：00 発(タクシーとジャンボタクシーに分乗)⇒鳩待峠 9：40 着

＜復路＞JR 沼田駅 16：10 発 ⇒16：56 着 高崎駅(乗換)17：03 発 ⇒ 横浜駅 19：22 着

コースと時間：＜28 日＞準備体操の後鳩待峠 9：55 発 ⇒ 山の鼻 10：55 着(昼食)11：25 発 ⇒牛首分岐
12：05 着 ⇒ 竜宮小屋 12：55 着(合羽を着ける)13：10 発 ⇒ ヨッピ吊橋 ⇒ 温泉
小屋 14：30 (雨のため三条の滝往復は中止)

＜29 日＞準備体操後温泉小屋 7：10 発 ⇒ 竜宮小屋 8：08 着 ⇒ 富士見峠登山道分岐 8：18 着 ⇒ 長沢の
上(オレンジタイム 8：50～10 分間) ⇒ 長沢の頭(竜宮小屋から 2.1km、富士見峠へ 2.1km) 9：51 着 ⇒
富士見田代(1892m) 10：58 着 ⇒ アヤメ平(1969m) 11：05 着(昼食) 11：40 発 ⇒横田代 12：22 着 ⇒
鳩待峠 13：35 着 タクシー14：30 発 ⇒ 沼田駅 15：55 着

ご存知でしょうか！ 尾瀬に最初の木道が設置されたのは 1950 年代と言われている。当初、木道の目的は登山者を湿原のぬかるみから守るためのものであった。しかし 1960 年代、当時尾瀬で唯一すぐ近くの富士見峠の富士見下まで自動車が入るようになり、尾瀬地域で最も標高の高い湿原のひとつであるアヤメ平が、単線の木道しか設置されていなかったために、行き違いが出来ずに湿原に降りた多くの登山者により踏み荒らされ裸地化したことを契機に、1966 年から尾瀬のほぼ全領域で計画的に複線の木道が整備されるようになった。又、植生復元作業も同時に行われた。なお、複線部分の木道は右側通行となっている。木道の設置・更新工事は、現在は福島県域では福島県によって、群馬県域では群馬県と東京電力によって、新潟県域では東京電力によって行われている。今回の主なコース尾瀬ヶ原は東北地方の最高峰 2356m の燧ヶ岳や至仏山(2228m)等に囲まれた東西 6km 南北 2km、標高 1400m の高層湿原である。第一の特徴は大小 400 あるという池塘(ちとう)と浮島、清楚で可憐な多種の高山植物が整備された木道からまじかに観察することが出来ることである。

尾瀬ヶ原幾万年の夏風情 一税



標高 1591m 尾瀬の玄関口鳩待峠での集合写真



尾瀬ヶ原と燧ヶ岳

尾瀬への誘い

いざな

分科会「ふれあいの道歩こう会」

副代表 相川 勲



夏が来れば思い出す

はらかな尾瀬遠い空・・・

・・・水芭蕉の花が咲いている・・・♪♪♪

皆さんご存知の江間章子作詞、中田喜直作曲で昭和24年NHK「ラジオ歌謡」で放送された『夏の思い出』である。

この歌が流されると同時に広く国民の心を捉え、多くの若者が尾瀬へ殺到するようになった。

日本を代表する広大な高層湿原で、そこに点在する浮島が浮かぶ池塘、豊富な花々は訪れた人々の期待を裏切ることはなかった。

尾瀬の生い立ちに簡単にふれる。太古、尾瀬一帯は至仏山とそこに源をもつ只見川が流れるゆるやかな準平原状の山であった。数十万年前、周辺の山々の噴火があり更に燧ヶ岳の噴火で只見川が堰き止められ大きな湖が



出来た。湖は北側にできた溪谷(現在の三条の滝を含む只見川)に湖水が流れ出したり燧ヶ岳からの土石流などで浅くなり、ヨシやスゲ、ミズゴケなどの植物が生え始めた。6千年前くらいから枯れた植物は高冷地のため腐ることなく泥炭化して湖底に堆積していき、長い年月をかけて現在の尾瀬ヶ原が形成されてきた。尾瀬ヶ原の特徴の池塘は発達の止まった湿原の一部が凹状になり水が溜まって出来たもの、浮島は池底の泥炭層がメタンガスの発生で剥離して浮き上がったものである。尾瀬東側の尾瀬沼はやや遅れて作られたのでまだ湖の姿を保持しているが、沼のまわりは湿原が拡が

りつつある。

こうして出来た尾瀬ヶ原は東西6km、南北2kmの本州最大の湿原地帯で大小400余りの池塘が存在する。冬の豪雪と標高は1400mながら冬は日本で一番寒いという旭川地方より冷えると言われ、真夏でも20度を超えない寒冷さが尾瀬独特の四季の変化を生み出している。

季節を追いかけるように色とりどりの多種の可憐な花々が咲く。雪がまだ残る5月中旬、尾瀬の代名詞・ミズバショウが咲きだす。6月中旬まで咲いているが後半は大きくなり可愛くない。「夏の思い出」の歌のつもりで夏に行っても見られない。

歌は旧暦なのだろう。この頃からリュウキンカ、ヒメシャクナゲ、ワタスゲがつづいて6~7月には、タテヤマリンドウ、レンゲツツジ、コバイケイソウ、チングルマ、イワカガミ、オゼアズマギク、オゼアザミなど百花繚乱となる。7月中旬のニッコウキスゲの群落も見応

えがあり、今年「ふれあいの道歩こう会」でもキスゲを目的に行っていたのだが、梅雨を避けて第4週にしたため花が終わっていた。池塘にもオゼコウホネやヒツジグサ、ミツガシワが咲き、食虫植物のモウセンゴケも池畔によく見られる。



池塘と浮島 2016年7月28日

尾瀬の気候は紅葉にも独特の変化を与えている。草紅葉と書きクサモミジと読むが、9月中旬から10月初旬にかけて湿原や草原が黄金色に色づく。9月末になると草紅葉が尾瀬ヶ原周辺の木々に移ろい広葉樹が赤や黄色に色づいて緑の針葉樹とのコントラストも美しい。

尾瀬ヶ原の東西に鎮座する尾瀬を作った主役ともいえる東北地方最高峰で標高 2356m の燧ヶ岳と尾瀬ヶ原の母体となった 2228m の至仏山(いずれも日本百名山)の山岳美が尾瀬に立体感を与え、日本人好みの感動的な風景にしている。また、所により会津駒ヶ岳や越後駒ヶ岳、平ヶ岳などの奥只見の山々、帝釈山や白根山など日光方面の山々などがはるかに望見できる。

人が入り難い所だから素晴らしい自然が残されていたのでしょう。しかし戦後、歌のせいだけではないが、押し寄せる登山客に踏まれた湿地が裸地化したりゴミなどで荒廃が進んだ。自然を愛する人々によって自然が破壊される皮肉な現象が起きていたのだ。昭和 40 年代、地元の有志や自然保護に関心を持つ人々さらに関係自治体、東京電力(株)の努力によって木道を整備したり裸地回復作業が行われ(これは現在も継続している)、ビジターセンターも設置、日本人の意識の向上と相まって再び尾瀬は独特の感動と喜びを味わえる場所に戻ってきた。

かつては入山が大変だったが現在は周辺の林道整備により入山口の峠上までバスで行けるようになり、体力の落ちてきた我々でも容易に尾瀬の素晴らしさに接することが出来るようになっている。簡単にトライできるコースを 2 つ紹介しておく。

(1) 鳩待峠から尾瀬ヶ原

鳩待峠は標高 1600m、標高 1400m の尾瀬ヶ原の



2011年5月31日 ミズバショウと至仏山

西端・山の鼻まで歩いて1時間の緩い下りである(帰りは1時間半)。しっかりした木道が整備され、樹林帯で高山植物にも出会える。山の鼻から尾瀬ヶ原の東端・見晴(十字路)まで2時間の平らな木道である。時間に応じて歩く範囲を決めれば良い。鳩待峠へは JR 沼田駅、上越新幹線上毛高原駅からバスがある。

(2) 沼山峠から大江湿原と尾瀬沼

沼山峠バス停は標高 1700m で、1780m の沼山峠展望台まで少し登りだが、その後大江湿原の脇を通り 1665m の尾瀬沼まで下りである。この道は昔の沼田街道の一部でもある。尾瀬沼まで約 1 時間 15 分、戻りは 1 時間 30 分くらいである。

沼山峠バス停まで入るには浅草から東武電車と会津鬼怒川線乗り継ぎ会津高原尾瀬口駅下車さらにバスを乗り継ぐという足の悪さがある。

帰りは尾瀬沼畔を 30 分歩けば、あと 2 時間程で三平峠を越えて大清水バス停に着く。JR 沼田駅や上毛高原駅までバスがあるので帰りやすい。

(1) は日帰り (2) は夜行日帰りが可能であるが、尾瀬ヶ原又は尾瀬沼畔の山小屋で一泊することをお勧めしたい。ゆっくり植物や風景を味わえる良さは勿論だが、早朝の湿原から立ち昇る霧に包まれた周囲の林の風情やカッコウなど野鳥の鳴き声が普通の喧騒を忘れさせる。山小屋の設備や食事は昔と違い旅館に近くなっている。

紹介した尾瀬は大きな高低差もなく道も整備されているとはいえ、1500m 前後の高地で車も入らない山であること、天気の変化が激しく雨や霧の日も多い。濡れた木道は滑りやすいので靴は軽登山靴以上、雨具など最低限の山の準備は忘れないで欲しい。



2016年7月28日 尾瀬ヶ原からの燧ヶ岳

独自コース 40 番「秋の大山」 (通算 122 回)

9月の定例会、「秋の大山」は次々と発生する台風とさらには秋雨前線の影響を受け、はっきりしない天候が続いたため、当初の定例会予定日の第3木曜日の15日と予備日の16日とも中止せざるを得なかった。しかし、ルールに則って第5木曜日又は金曜日に再設定することで、結局30日(金)に実施することができた。とはいえ、3度にわたる延期もあって、参加者は最近にない少人数の11名であった。なお、掲載の駄句、「曇天の秋の大山園児服」は園長さん父母に引率された30名ぐらいの園児たちと出会い。園児たちの真新しい黄色い服が曇天でまだ紅葉には早いこの時期の山中を園児たちの明るい声とともに周囲を明るく華やいだものにしてくれた状況を詠んだ。

実施日：平成28年9月30日(金) 天候：曇り

歩行距離など：歩行時間 約4時間 歩行距離 約10km 参加者：11名(男性6名 女性5名)

コース所在地：伊勢原市 秦野市・厚木市の市境

交通：<往路>小田急 秦野駅バス乗場：8時集合。小田急バス 8:18 発 ⇒ヤビツ峠 9:10 着

(復路)大山ケーブル:阿夫利神社駅 14:20 発 ⇒大山ケーブル駅 14:26 着 ⇒徒歩、大山ケーブルバス停 14:45 発バス⇒小田急伊勢原駅 15:05 着。伊勢原駅発 15:15⇒海老名駅 15:25 着、相鉄線海老名駅 15:31 発⇒横浜駅 15:57 着。

コースと時間:ヤビツ峠 9:20 発 ⇒(イタツミ尾根) ⇒25丁目(表参道との合流) 10:35 着 ⇒大山山頂(阿夫利神社上社) 10:50 着。昼食 10:50~11:30、大山山頂 11:30 発 ⇒(表参道) ⇒阿夫利神社下社 13:20 着。参拝、オレンジタイム 13:20~14:00。大山ケーブル：14:20 発に乗車。

ご存知でしょうか！ 大山は、神奈川県伊勢原市・秦野市・厚木市の市境にあり、またの名を雨降山または阿夫利山と書き、人々からは雨乞いに靈験のある山として信仰されてきた。また、正三角形に近い秀麗な山容は、相模・武蔵・安房・上総から見る事が出来、漁師たちにとっては漁場や航路の目印であったため、やはり信仰の対象となった。主神は山祇大神で、大山という名の由来になっており、また大山石尊とも呼ばれるように、巨石が御神体であるとも言われていた。江戸中期以降は江戸の庶民も、一生に一度の贅沢のようにして伊勢参りなどに出かけたが、近場では、江ノ島・鎌倉、金沢八景、大山、富士山、成田山、その中でも大山詣が特に人気の高かった。文化・文政・天保期に江戸では、招福除災の現世利益的な傾向が強く、雨に因んで水に関係の深い職業のである火消しや鳶、あるいは石尊に因んで刀鍛冶や大工などの職人を中心に大山講中が多く組まれた。

曇天の秋の大山園児服 一稅



大山山頂(標高1251m)での集合写真



阿夫利神社で仲間と一緒に参拝

独自コース 41 番「草津白根山」 (通算 123 回)

草津白根山(2160m)は2007年12月1日から噴火警戒レベルが設定されており、2014年3月上旬からは湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、湯釜付近の膨張を示す変動が認められたことから6月3日以降は、噴火警戒レベル2(火口周辺規制)に引き上げた。それに伴い湯釜の周辺への立ち入りができなくなっている。よって、今回は本白根山を中心の山行とした。

実施日：平成28年10月12日(木)～13日(金) 天候：1日目：曇り後半少々雨 2日目：曇り晴れ
歩行距離など：歩行時間2日で約6時間 歩行距離2日で約20km 参加者：12名(男性7名 女性5名)

コース所在地：群馬県吾妻郡草津町と嬭恋村

交通：往路：(集合場所高崎駅)高崎駅8:46発JR吾妻線(万座鹿沢口行)⇒長野原草津口10:07着
JRバス関東長野原草津口10:35発⇒殺生河原11:20着。ロープウエーで山頂駅11:40着。

復路：万座プリンスホテルバス停13:47発⇒14:30着 草津温泉14:45発⇒15:15着 長野原草津口(吾妻線)15:50発⇒17:05着 新前橋17:22発(通勤快速)⇒上野駅19:16着・・・解散

コースと時間：1日目：山頂駅周辺で昼食後12:10発、⇒鏡池周辺散策13:00～13:15⇒本白根山展望所13:45着⇒本白根山遊歩道最高地点14:10着⇒万座温泉バスターミナル16:10着(ホテル聚楽から送迎車を待つ)⇒万座温泉ホテル聚楽16:30着 2日目：ホテル聚楽で朝食後、(宿の送迎車で)渋峠へ7:40発⇒渋峠8:00着。渋峠8:30発⇒日本国道最高地点(2172m)8:42着⇒万座・山田峠分岐9:20着⇒万座お参りコース分岐10:35着⇒稲綱宮神社⇒薬師堂⇒湯畑11:20着⇒万座プリンスホテル11:30着。昼食後にかたらいの森コース(牛池周辺)を散策。

ご存知でしょうか！ 草津白根山(2160m)は日本百名山。近隣の逢ノ峰と本白根山を含めた三山の総称とすることもあり、この場合は標高2,171mの本白根山が最高峰となる。草津白根山山頂付近は白い山肌が広がっているのが特徴であるが、1882年の噴火以前は火口付近まで緑が広がっていたという。山頂付近には複数の火口湖が形成され、湯釜、水釜、涸釜と呼ばれている。かつて、山腹にはいくつかの硫黄鉱山が存在し、鉱山跡が現在も残っている。火口縁には湯釜を望む展望台が設置されている。草津白根山では、気象庁が運用を開始した2007年12月1日から噴火警戒レベルが設定されており、2014年6月3日以降は、噴火警戒レベル2(火口周辺規制)に引き上げに伴い、湯釜の周辺への立ち入りができなくなっている。なお、湯釜は、直径約300m、水深約30m、水温約18℃の火口湖である。

白根山噴煙上がる紅葉道一杣



本白根山展望台での集合写真。背後の山は浅間



本白根山遊歩道 最高地点2,150m 付近からの本白根山

「浮雲俳句会」

抄録 No.35

代表 北野 清市

101回例会 平成28年7月31日

〔秀作〕

天賞

頂きにケルンを置きて下山せり 一幸

典型的な山岳俳句。〈ケルン〉は、山頂に石を積み、登山の記念や道しるべとするもの。本来登山は、信仰の行為で山を神と考え、山頂に神がいると信じて崇めた。仏教が伝来してから神仏が習合し、修験道によって大峰・立山・白山・男体山などが開かれた。また富士講・御嶽講が盛んになり、先達の山伏に統率され白衣・金剛杖で登山した。明治になってから近代的登山がはじまり、日本山岳会も創られ、山岳俳句が水原秋櫻子・石原辰之助・飯田蛇笏らによって進められた。その後前田普羅の「甲斐の山々五句」（駒ヶ嶽凍てて巖を落としけり）ほか、今の山岳俳句の嚆矢と云われている。この点掲句は、例えば常念の〈頂きにケルンを置き〉下山途中、夕日に染まる焼岳と対面したとしよう。更に右側に穂高連峰とも対峙しながら、下山する山男の心境を想像するのだ。

地賞

宵山の明かりと雛子古都を継ぐ 和女

京都の祇園祭を切り取った佳吟。祇園祭は、京都の八坂神社の祭礼で7月一杯のロングランである。特に7月16日から24日までに行われる山鉦（やまぼこ）巡行は有名。

因みに、「鉦の上の空も祭の星飾る 久兵」また「大車輪ぎくりととまり鉦とまる 波津女」などがある。具体的には宵山は16日、後の宵山は23日であり、29日の神事済奉告祭をもってすべてが終了する。祇園祭は、五月の葵祭・秋の時代祭と並ぶ京の三大祭、祭の代表である。これらで京都千年の歴史を垣間見ることができるのだ。

人賞

芦ノ湖に海賊船のカーニバル 三洋

〈芦ノ湖〉は、箱根の火山湖。南サイドが幅広くひょうたん形である。面積が7 km²・水面高度73.2 m・最大深度43 m。水の透明度が高く箱根観光の中心。元箱根～湖尻間に遊覧船が運航している。掲句の〈海賊船〉は、特別仕立てのものであろう。〈カーニバル〉は、ローマ時代の冬至祭に遡り、仮装行列や山車（だし）がでる。願わくば、〈海賊船〉の〈カーニバル〉は、全船貸切のうえ、ドンチャン騒ぎであることを期待する。

特選

芦ノ湖や龍の出そうな夏の霧 重九

夫婦で久しぶりに箱根に旅行し、楽しいひと時を過ごした。芦ノ湖畔を散策すると霧が出ていて、何か神秘的な又あやしげな感覚にとらわれた。九頭龍神社の由来と言われる「九頭龍伝説」を思い出し、そんなことはありえないことであるが九頭龍に会えないかなあと考えた。九頭龍神社は女性に人気のパワースポットだそうだし、毎年7月31日には「湖水祭」も催されている。

烏賊釣り火観光バスの窓に散る 一馬

もう何年か前の話になりますが、勤め先の会社の旅行で函館に一泊したことがありました。確か宴会のあと希望者だけで夜の観光バスに乗り込み、高みから烏賊釣り漁船の灯が星のように広がっているのを眺めました。かなり酒も回っていましたから、バスからは降りず車内に居座っていましたが、窓から見える光景は酔眼のせいもあってまことに美しく幻想的でありました。この日、昼間に味わった烏賊素麺の食感とともに、烏賊釣り火の印象がつい昨日のこのように心に残っているのです。

風鈴のひとり遊びか夜のしじま とも女

我が家の和室の窓際に、南部風鈴が吊るしてある。冬の間は、窓を開けずに過ごすことが多いので、殆ど忘れられているが、夏になると、窓を開けておく日が多くなり、南部風鈴の出番となる。昼間は騒音に掻き消され、鳴っても気にならないことが多いが、夜になると、辺りは静かになり、開け放された窓から、透明で心に染入る様な音色を聞かせてくれる。一人で楽しんでいるかのように。時には、鎮魂歌のようにも。

半睡の部屋に日がさし明け急ぐ 勇平

6月の半ばには昼間の最も長い日、24節季「夏至」を迎える。当句はこの時期の「明け急ぐ・短夜・明易」を詠んだ句であるが、夜型人間としては何かしっくりこない季節ではある。熟睡感のないまま目覚める4時台はこのまま一日をスタートしようか、もう少し眠ろうかと思案する悩ましい時間帯である。又、年を重ねた昨今は朝までに2度3度と目覚めることが多く、生存率の高いといわれる7時間という睡眠時間には足りない状態が続いている。しかし、眠りの浅いまま、いつの間にか窓辺には朝の明るい光が来ている。

鎮もれる深き思ひや夏木立 十九

亭々と連なり、空を隠し、動く物もなく、物音一つしない深い夏木立。足を踏み入れると、身の引き締まるような静寂。遥かなる時を刻みつつ、世の様々な動き・変化を確かと見届けてきた木々の、心に秘めた深い思いがひしひしと伝わってくる。暫し、その静寂の椅子に心身を委ねる。

〔 秀 作 〕

天賞

花カンナ惚け封じなる英会話

国眼

プロゴルファーの石川遼は、アメリカへ移住し“リョーの英会話のレッスン”を始めている。このような中、〈英会話〉は、ラジオの英会話番組を聞いたり、英会話教室に通っても長く続かなかつたと云う。一般的には英語の基礎をやさしく教えてくれるものだが、どの教材も学ぶ人が、既に、英語をよく知っている想定の上に立っているものが多い。だが実際のレッスンは、一言で通じる言葉から始まっている。空港で警備員が一つの荷物を指して、「イズ・ディス・ユアーズ ? (これは貴方の物ですか)」と尋ねた。貴方の物でないときは、何と返事をすればよいのでしょうか。「ノウ」と云えばいいのです。警備員が尋ねました「ウエア・アー・ユー・フロム ? (どこから来ましたか ?)」。貴方は何と云いますか。「ジャパン」と云います。惚け防止には、このような英会話入門が必要です。これからは〈惚け封じなる英会話〉に精進しましょう。

地賞

かなかなの旋律哀しあさぼらけ

和女

丁度ジャスト旬の俳句。〈かなかな〉蝸(ひぐらし)は、からだは細長く、翅は透明・腹部は褐色でところどころに緑青色の模様がある。かなかなかなと鳴く。一般的に深い森にいて、夕暮れにも鳴くが主に夜明け前に哀れに、しかも物かなしく鳴く。鳴くときは如何にも秋の感じをしみじみと告げる。「ひぐらしの鳴く山里の夕暮れは風よりほかに訪ふ人もなし」と古今集にある。俳句でも「かなかなの鳴きうつりけり夜明け雲 蛇笏」と〈旋律哀し〉く聞かれる。

人賞

踊りの輪手のひら返し二歩三歩

勇平

踊りの具体的な所作を例示した佳吟。〈踊り〉とは、俳句では盆踊りのこと。盆踊りは、空也・一遍の念仏踊りから出たもので盆に戻って来る先祖の霊を供養し、あの世に送り帰すためのもの。室町時代から江戸時代に全国へ広まり、その土地らしい、また娯楽的なものが生まれた。普通盆踊りは、街角や広場に櫓を組み、その上に音頭取り囃子方が上がり、櫓を取り囲んで老若男女が踊る形のものである。阿波踊りのように列をつくって流して歩くものや、男達・女達が練り歩き、要所で踊るものなどいろいろある。蕪村も「四五人に月落ちかかるをどりかな」と詠っている。いずれにせよ掲句は、〈手のひら返し二歩三歩〉と極めて具体的で、その所作は急所を掴むものであって、臨場感が一段と醸成されている。

特選

眉太き遺影の父の盆供養

とも女

父が他界してから、3年の歳月が経った。位牌は、弟の家の仏壇に納められている。仏壇の傍には、父と母の遺影が並べて飾ってある。子供のころ、私たちは、厳しく育てられ、滅多に笑顔を見せない父であったが、老いるにつれ、性格も表情も穏やかになっていった。遺影の父は、太い眉が下がり気味で、優しく微笑んでいる。今年も、父の見守る遺影の前で、ささやかではあるが、盆供養を行い、父を忍んだ。

真っ新な赤の前垂れ地藏盆

一馬

その昔夏休みの終わりごろ、お地藏さんの縁日にお供えを持っていくと、地藏の赤い涎掛けが真っ新になっていたのを思い出します。どなたか篤志の方が取り替えて下さったのでしょうか？先日この区内で、辻の六地藏が鮮やかな新品の涎掛けをつけているのをバスの窓から見かけました。そして、ふと懐郷の念に駆られたことでした。

まちをあげ吉田火祭り富士鎮め

一柧

吉田の火祭りは、私の出身地都留市の隣町富士登山口のある富士吉田市で毎年8月26日に行われる祭りで、日本三奇祭のひとつに数かぞえられている。祭り当日は上吉田地区の金鳥居(かなとりい)から北口本宮富士浅間神社にかけた約1キロメートルにおよぶ沿道では、高さ3メートルの大松明約80本余りが夕暮れ時に燃やされ、また、吉田登山口道に沿った山小屋でも一斉に松明が焚かれ、町と山が一体となって火祭りが繰り広げられ上吉田の町は火の海と化し深夜まで賑わう。なお、吉田の火祭りは平成12年12月に国の重要無形民俗文化財に指定された。

梶の葉にピースと書きし異邦人

あきえ

ロシアの女性が短冊に書いた願い事「世界平和」を見た時の句です。国際交流のグループで、日本文化七夕を紹介することになり“願い事を書きましょう”と。彼女とは、この地に暮らす主婦として数年間一緒に日本語を学習してきましたが、この時初めて彼女の広い視野に気がつきいろいろと考えさせられました。

御巢鷹の尾根の鎮もる星月夜

十九

あれからもう二十年が過ぎた。しかし、御巢鷹の尾根に起きたあの衝撃的な事故の記憶は、今も人々の胸の中にあって、八月のその時期になると、また新しい悲しみが甦る。満天に煌めく星空の下、御巢鷹の尾根は、鎮魂の思いそのままに静まりかえっている。その静寂の中で、ふと微かに耳に聞こえるかのようなあの歌声。「見上げてごらん夜の星を…。」

〔 秀 作 〕

天賞

月に暈「明日は雨じゃ」と婆教へ 重九

月に関する警鐘句。今年の中秋の名月は例年より早く 9 月 15 日。この月……美の中心に置かれ秋を代表する。わけても秋の月は清明で、物思いやもの悲しい情感などの気持ちの籠るもの。この月……月の周囲に大きな輪を生じたのである。これを見た〈婆〉は、「明日は雨じゃ」と警鐘した。

長い人生のなかで積み重ねてきた日常的な教訓を人々に教えているのだ。

地賞

頬撫でる夜風のけはひ虫時雨 和女

秋の気配と虫時雨を詩的に表記した秀吟。俳句で云う〈虫〉は、秋の鳴く虫のことである。これは大別して二種類の虫になる。きりぎりす・くつわむし・うまおい……などと。一方、こおろぎ・すずむし・まつむし・かねたたき……などである。前者は野趣のある声で、後者は味のあるこえである。「露しげき葎の宿にいにしへの秋にかはらぬ虫の声かな」と『源氏物語』横笛の巻にあるが、秋のさびしさの演出の主要な一つである。命・枯るる・鳴く・露・涙などが連想される。

人賞

花野行く背のますぐなる母白寿 十九

白寿の母の健在ぶりを見事にキャッチした秀吟。〈白寿〉は 99 歳。最近の厚生労働省の調査では、日本人の百歳以上が 6 万 5 千人。うち 87% が女性。まさに長寿大国だ。この母。9 月のある日、秋草の咲きみちた野、ひろびろとした野を〈背のますぐなる〉姿勢で散策しているのだ。泊月の句に「大阿蘇の浮かびいでたる花野かな」があるが、〈母白寿〉の故郷阿蘇での健在な雄姿を彷彿させる。

特選

戦災地乏しき蝗分け合ひし 一馬

私の田舎は昭和 20 年 7 月 24 日の昼間の爆弾攻撃と、28 日夜の焼夷弾攻撃によって完膚なきまで焼き尽くされました。幸いにして生き残った人々は防空壕の中で暮らし、焼け跡にくすぶる大豆の燃え滓などを血眼で奪い合う霜烈なる生き地獄でありました。そんな中、偶々市外の田んぼから捕って来たイナゴを施餓鬼のように分け与えている人がいました。正に仏の慈悲を絵に描いたような景でありました。そこで頂いた貴重なイナゴ、横取りされないように必死で持ち帰り、皆で分け合って貪り食ったのです。遠き日の思い出。

米寿なる恩師の客間蘭の花

三旦

先般の組閣で、神奈川一区選出の松本純氏が国家公安委員長に就任、新任大臣へのインタビューがNHKニュースで報道された。他の新大臣も日にちを変えて紹介されていたが、判で押したように大臣室に飾ってあったのが豪華な蘭の花。これを見て、昨年、高校の恩師に米寿祝として卒業生有志で蘭を送り、先生宅へ押しかけ酒を飲んだことを思い出した。その時の模様を詠んだ句です。考えてみれば恩師とは20歳そこそこしか齢が違わなかったわけです。一緒に痛飲された恩師も、本年心筋梗塞で突然他界してしまった。合掌。

秋天に焼岳仰ぐ河童橋

一椀

今までに槍ヶ岳登頂や常念・蝶が岳からの下山の折、さらには涸沢への紅葉狩りなどで、上高地へは数回行っているがその都度、河童橋から帝国ホテルの先に聳え立つ焼岳の存在感に何時か焼岳へも登ってみたいとの思いを持ちながら月日が過ぎてしまった。しかし、同じ思いを持った仲間との出会いから、昨年チャンスがあったものの天候不順で中止の憂き目をみた。しかし、今年こそは登るぞとの思いを込めて一句を詠んだ。

コンクール終へて寝そべる案山子かな

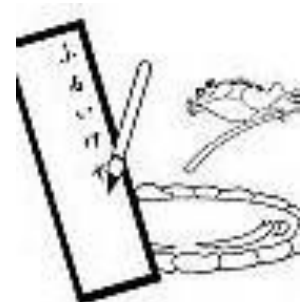
とも女

昨年の秋、舞岡公園へ行きました。園内は、大変に広く、ここには、懐かしい山里があります。野の草花、小鳥、田畑、茅葺屋根の家、炭焼き小屋等、都会では珍しい空間があり、別世界へ来たようです。わたしが訪れた日は、田を囲んで、案山子のコンクールが行われた後でした。妖怪、漫画のキャラクター、有名人等、ユニークな案山子がならび、思わず吹き出してしまいました。しかし、長時間立たされていたせいか、大部分の案山子は、役目を終わって、生気を失い、地面に置かれていました。案山子さん達、どうもお疲れさま。

秋茜山を降りくる山男

一幸

秋茜(あきあかね)は普通の赤トンボのことで、初夏、羽化し、橙黄色で山地に移動、そして秋になると群れで里に降りて来て、池などに産卵する。老熟した雄は腹部あたりが赤く変わる。この句は秋茜と山男の取り合わせの句である。一般的に一物仕立ての句よりも二物衝撃・取り合わせの句の方が作り易いともいわれている。



今回のテーマは、インターネットでの情報収集です。現在のインターネットの世界はまさに百科事典です。半世紀前には思いもつかなかった様な巨大な図書館を簡単に利用することが出来ます。もっとも、その内容は玉石混淆ですから、注意深く情報を集めないといけません。

1. ブラウザ

インターネットの情報を集める道具です。Internet Explorer、Google Chrome、Safari、Microsoft Edge等のブラウザがあります。いずれも購入したパソコンにインストールされているか、無料でダウンロード・インストールします。使い勝手は少しずつ違いますがどれでも同じように使えます。

Microsoft EdgeはWindows10にインストールされた最新のブラウザで、まだ対応していないサイトもあります。

ブラウザのトラブルでインターネット検索ができない場合もありますから、複数のブラウザをインストールしておくことをお勧めします。

2. 検索サイト

インターネット検索の入口でいろんなサイトを検索するサイトです。Yahoo、Google、MSN 以外にも沢山あります。

➤ Yahoo：これを使っている方が一番多い



様です。ニュースや各種サービスをメニュー表示してあり、メニュー項目を選択することで情報に接近できます。また、検索バーにキーワードを入力して必要な情報を集める事も出来ます。

➤ Google：検索に特化したサイトです。右上のメニューを開くと Google が提供するサービスが表示されます。現時点でニュース、YouTube 等 40 件のサービス



があります。Google マップは使った方も多いでしょう。これらのサービスは無料で利用できます。あらかじめ Google ID を取得しておくこと更に奥深い利用が出来ます。

➤ MSN：Microsoft が提供するサイトです。ニュースの目次を表示しています。Facebook や Skype 等のサービスへの入口も設けています。



3. 検索の方法

インターネットで調べ物をする時、検索ボックスに調べたい言葉（キーワード）を入力してEnterキーを押します。複数のキーワードを空白を挟んで入力すると良いと言われていましたが、調べたい文章をそのまま入力の方が良さそうです。現在の検索エンジンは優秀で、文章から複数のキーワードを切り分けてそれを使って検索します。キーワードを「”」（半角クォーテーションマーク）で囲むとその文言とぴったり一致する文章を含むサイトを探し出します。新聞記事や書籍を探す時に役に立ちます。

4. 調べ方のノウハウ

① 検索の連鎖

キーワード（例：大統領選挙 TV 討論会）で検索を実行すると検索サイトに関係ある記事が下の様に表示されます。



1つのサイト毎にタイトル、URL、3行程度の記事が表示されます。これを見ながら自分の目的に合ったサイトを選び、タイトル行をクリックするとそのサイトが開きます。そのサイトの内容で目的とする情報が得られなければ元に戻って別のサイトを開きます。

② 画像検索等

検索ボックスの下に検索対象のメニューがあります。ここで「画像」を選択するとサイ

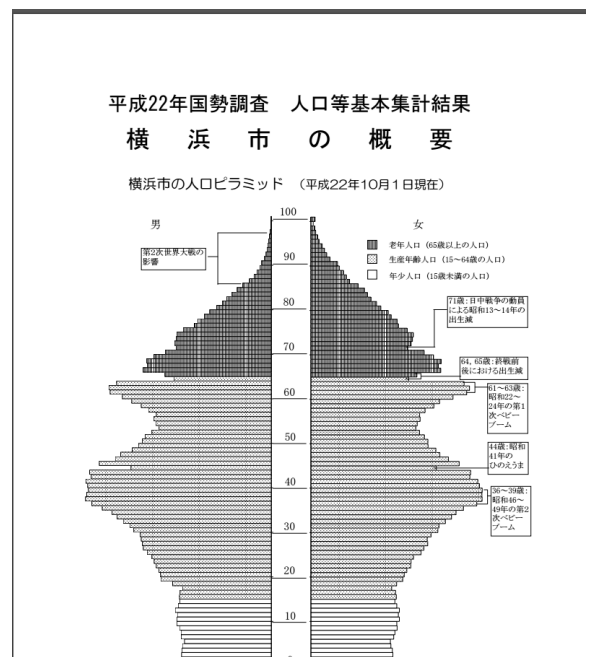
トに掲載されている画像が表示されます。この画像をクリックしてそのサイトへ行くことができます。花や有名人などを検索する時に有用な方法です。下図は「干支 酉 イラスト無料」で検索した結果です。



検索対象メニューで「動画」を選択するとYouTubeなどの動画サイトが表示されます。

③ Pdf 検索

検索ボックスに入力するキーワードに「Pdf」を付け加えると、Pdfファイルの情報を手に入れることができます。Pdfファイルは、WORD等文書を紙に印刷する代わりにパソコン上の画像にしたもので、まとまりのある情報と考えて良いものです。「横浜市人口 Pdf」で検索して3番目に現れた「人口等基本集計 横浜市の概要」をクリックすると次の様なグラフが得られます。



「ジョン万次郎 漂流記(最終回)」

「古文書を読む会」

代表 真田 雅行

- 11年10カ月ぶりの帰郷であったが、土佐藩主山内容堂から召し出されたため、万次郎はわずか数日で故郷を離れた。定小者(さだめこもの)という最下級の侍となり、帯刀をゆるされる。
- 以降土佐の藩主を始め重役・民間の有志に招かれたり訪問をうけたりして、尋ねられるまゝに海外の有様を話すのに忙しい日々を送る。
- 特に家老吉田東洋の指示を受けた地下侍で画家の「川田小梁」(河田小龍)は教養のある万次郎を自宅に連れ帰り、起居を共にして万次郎がぽつりぽつり語る夜話に滞米を中心に11年の生活を事細かく物語るのを聞き取るうちに、ただ聞き流すべき話ではない、と直感して逐一書き綴った。
- 特にアメリカの民主社会の国情が耳新しく彼の心を捉え、これを整理して5巻の『漂異紀略』(ひょうそんきりやく)にまとめ藩主山内容堂に献上した。
- この『漂異紀略』を容堂がたまたま家来自慢から江戸参勤のみぎり親藩大名に見せびらかしたのが評判となり、諸大名が競ってこれを借覧した。これが万次郎起用のきっかけとなった。(中浜万次郎と改姓を認められる)。
- 以降万次郎の漂流談は全国的に広まり、各種各様に改題され、写本から写本を重ねて流布していった。(今回テキストに使用した『土佐国漂流人帰朝記事』もその一つである)。
- 土佐滞在中に後藤象二郎、岩崎弥太郎、坂本竜馬など維新の英傑が感化を受けた。
- 日本を取り巻く国際情勢は、近海に黒船が出没し、開国を迫る諸外国が日本にせまり、その応接に鎖国か開国か、幕府は頭を悩ましていた。すでにオランダ政府からはアメリカ艦隊が開港を迫って来航するという情報を得ていたが、幕府はこれに対応する手だてもなかった。当時幕府はオランダを通じヨーロッパ諸国の事情には通じていたが、ただ新興国アメリカの国情に関しては無知の状態であった。
- 1853年(嘉永6)はペリーが来航し、「泰平の眠りをさます上喜撰たつた四杯で夜も眠れず」の狂歌の如く大騒動であった。
- 外国通特にアメリカ事情に精通した人材が求められていた時、蘭学者の大槻盤溪などから第一人者は中浜万次郎であり、将来国の役にたつ人物として老中阿部正弘へ進言、急遽土佐から江戸へ呼寄せられた。
- 江戸幕府召喚取調べ
- 万次郎は8月30日江戸到着、特に韭山の代官江川太郎左衛門、勘定奉行川路聖謨などは自宅に呼寄せて話を聞いた。老中阿部正弘は万次郎を幕府直参旗本に登用し、御普請役格20俵2人扶持とした。これにより幕府は今まで想像もしなかったような最新の知識を得た(取調べというより話を聞く勉強会のようなもの)。
- 江川太郎左衛門が公私にわたり面倒をみた。
- 1854年(安政元)江川の仲介により、27才で剣術師範の団野源之進の二女、鉄(16才)と結婚。
- 1854年1月、ペリーが軍艦7隻を率い、再度いきなり江戸湾に入ったので、幕府は江川太郎左衛門に命じ談判にあたらせた。彼は蘭学者の通訳では不便が多いとして万次郎を通訳にしたいと進言したが、老中阿部正弘は水戸の徳川斉昭が心配している、として許可しなかった。
- 斉昭の江川太郎左衛門宛の書簡によると、万次郎の出席を禁じ、追伸には万次郎が万一アメリカに行ってしまうば「臍をかみても間に合い申さず」とある。斉昭は万次郎がスパイではないかと疑ったのである。

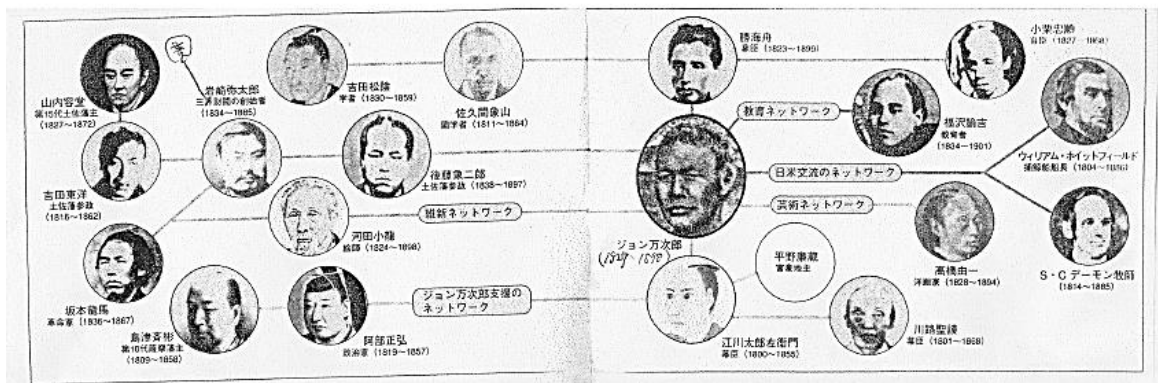
吉田松陰が誰か西洋へ渡って西洋文明の精神を理解することなくして西洋の圧力に打ち勝てないと考えていたのに対し、師匠の佐久間象山が「自分で行ったらいい」というので、ペリーの黒船に下田から密出国しようとし、送り返されたのもこの頃である。

○その後の幕末～明治期の万次郎の活躍はめざましい。

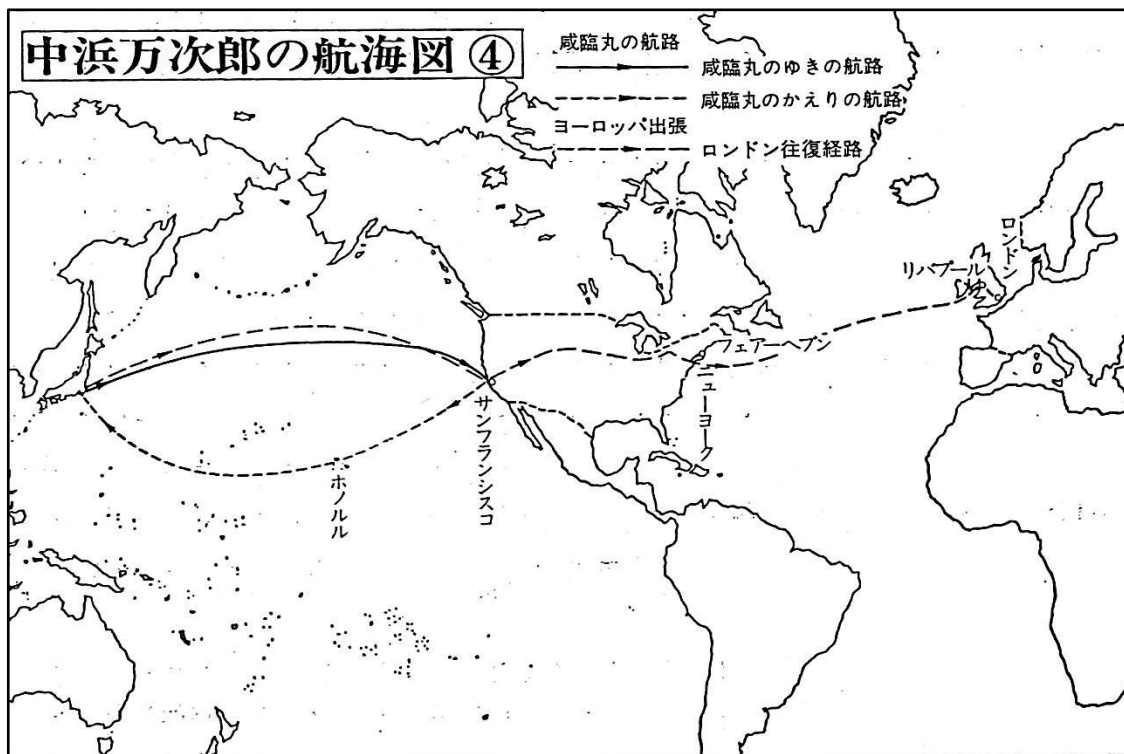
軍艦教授所の教授、箱館奉行所で捕鯨技術の指導、小笠原海域への捕鯨、英会話書の編纂、更には1858年(安政5)6月には日米修好通商条約締結に伴う批准書の交換のため、1860年(万延元)1月19日、訪米使節の護衛と水夫の遠洋航海訓練を兼ねた「咸臨丸」で首席通訳として渡米(同乗した福沢諭吉に英語やアメリカ事情を伝授)した。

更に明治3年8月、ヨーロッパ出張のため横浜港出帆、アメリカ寄港の途次恩人ホイットフィールド船長宅を訪問し大歓迎を受け旧交を温めた。

広い万次郎の人脈



以上の外に万次郎から英語を学んだ人としては、津田真道(開成所教授)、新島襄、西 周、箕作麟祥(翻訳御用頭取)、大槻盤溪、大鳥圭介(開成所教授)、榎本武揚等がいる。



○明治6年以降は明治政府の欧化政策が本格化して、万次郎の役割は次第に減少したので、土佐の母を見舞ったりしながら、家族と共に過ごすことが多かったようである。

文久2年妻 鉄24才で病死、明治12年母 汐86才で死去、明治31年万次郎71才で死去、波乱万丈の幕を閉じた。

晩年のジョン万次郎とサイン



ジョン万次郎の墓(東京 南池袋 雑司ヶ谷)



ジョン万次郎の家族



万次郎の一家。左より万次郎，長男東一郎，綾子(東一郎三女)，お守さん，清(東一郎二男)，幸(同長男)，糸子(同長女)，芳子(同妻)。

出典 『中浜万次郎の生涯』より
中浜 明 著 (万次郎の孫)

行事予定

2016年12月～2017年2月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	12月	1月	2月
学習会	予定なし	予定なし	2月11日(土) 能見台CC 9:30~12:00 —能と金沢— 慶應義塾大学付属研究所 斯道文庫 准教授 高橋 悠介 氏
寺社を巡る会	12月1日(木) 集合：岐れ道バス停 10:00 地区：鎌倉二階堂 訪問先：鎌倉宮、覚園寺、永福寺跡、瑞泉寺	1月13日(金) 集合：北鎌倉駅 10:00 地区：鎌倉七福神巡り 訪問先：浄智寺、宝戒寺、本覚寺御霊神社、長谷寺等	2月10日(金) テーマ：15周年記念行事予定 場所：横浜市立大学 時間：13:00~
古文書を読む会	12月8日(木) リハーサル室 10:00~12:00 石井家文書 12月22日(木) リハーサル室 10:00~12:00 芭蕉翁終焉記	1月12日(木) リハーサル室 10:00~12:00 石井家文書 1月26日(木) 未定 10:00~12:00 和宮様御下向	2月9日(木) 未定 10:00~12:00 石井家文書 2月23日(木) 未定 10:00~12:00 和宮様御下向
ふれあいの道歩こう	12月8日(予備日9日) 125回=独自コースNo.43 日向薬師、飯山観音 神奈川県 伊勢原市 厚木市	1月19日(予備日20日) 126回=独自コースNo.44 高尾山をのんびり歩く 東京都 高尾市	2月16日(予備日17日) 127回=独自コースNo.45 早春の曾我丘陵から梅林へ 神奈川県 小田原市
懐かしの映画を観る会	12月12日(月) 12:15 金沢cc 蝸の記 (日) 12月26日(月) 12:15 金沢cc 007シリーズ(米)	1月9日(月) 12:15 金沢cc 恋に落ちた江戸っ子 (米) 1月23日(月) 12:15 金沢cc ドクトル・ジバコ (米・伊)	2月13日(月) 12:15 金沢cc アナと雪の女王 (米) 2月27日(月) 12:15 金沢cc 真空地帯 (日) アパートの鍵貸します (米)
浮雲俳句会	12月25日(日) 9:30~ 能見台CC 第105回例会 テーマ 十和田湖	1月29日(日) 9:30~ 能見台CC 第106回例会 テーマ 富士五湖	2月26日(日) 9:30~ 能見台CC 第107回例会 テーマ 伊豆沼
パソコンを使いこなす会	12月13日(火) 金沢CC Office 実用講座 — エクセル名簿 — 12月20日(火) 金沢CC Internet 実用講座 — ドロップボックス — 9:30~12:00	1月17日(火) 金沢CC Office 実用講座 — WORD 書式設定 — 1月24日(火) 金沢CC Internet 実用講座 — Skype — 9:30~12:00	2月14日(火) 金沢CC Internet 実用講座 — PICASA — 2月21日(火) 金沢CC Windows 実用講座 — NHK オンデマンド — 9:30~12:00

連絡先:

- ・学習会 090-6176-4543(内田) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 782-8147 (小俣) ・懐かしの映画を観る会 701-1606(佐藤)
- ・寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿) ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記

以前から「ら抜き言葉」が気になっていたが、2015年度の文化庁の調査結果を見て驚いた。普段使う言葉として、本来は誤った使い方とされていた「見れる」「出れる」が、「見られる」「出られる」を上回り多数派になったという。孫たちに口うるさく注意していた言葉が既に世の中に浸透していることに歳の差を感じている。本来、言葉は揺れる“(時代とともに変化する)”と言われるが、私には若者がメールで使っている略語は古文書より難解だ。
「見れる」「出れる」に抵抗しているようでは時代に置いていかれそうだが、やっぱり気になる。という訳で例え少数派になっても使いたくないと心に決めている。(伊達)

発行日	平成28年(2016)11月12日
発行月	4回(2,5,8,11月)
発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
編集長	鈴木 秀幸
編集委員	貝田 誠作 田中 徳明 伊達 一雄 相川 勲 柴崎 幸治 山腰策次郎 江口 正彦 金間 誠一